

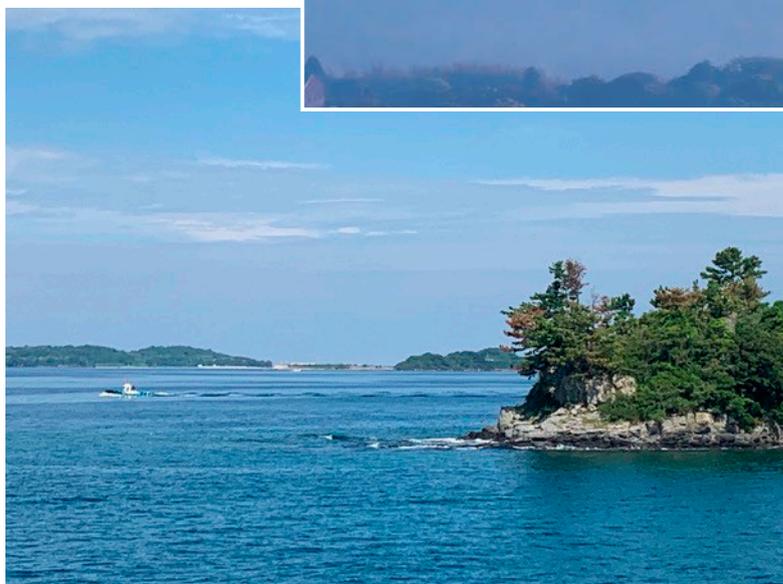
# 雪州会多与架

雪州会だより

第50号記念（令和4年版）  
東京壱岐雪州会発行

創刊50号

～故郷との絆深め50年



## 壱岐2景：海と丘

（左：郷ノ浦細崎から見た渡良半島と大島  
右：岳ノ辻頂上からの壱岐の夜明け）

- 「緊急インタビュー」～壱岐出身：山本啓介参議院議員に聞く～……………6～8頁
- 「我が友」を語る～キューちゃん、ケンちゃん、マサちゃん～森谷正規……………12頁
- 第5回「雪州会賞」受賞者（壱岐高・壱岐商高）の言葉……………15頁
- 特集：創刊50号記念に寄せて…眞鍋陽晃（20頁）外7人……………18～23頁
- 「我が恩師」～白石光男…24頁 「壱岐の思い出」～立石義昭……………25頁
- 「趣味」〈溪流釣り〉～平田輝久…27～28頁 「我が青春の追憶」～村上安弘…29～31頁

東京壱岐雪州会は故郷〈壱岐〉と共にあります



## 会長就任のご挨拶

### 雪州会の充実と壱岐の活性化に向けて

東京壱岐雪州会 会長 長峰隆徳

私はこの度、東京壱岐雪州会の会長に推挙、指名されました。

お引き受けしたからには、コロナ禍、ウクライナ情勢、円安等のご時世の中、会員の皆様を始め多くの方々のご協力を得ながら、雪州会の更なる充実発展と、大好きなふるさと壱岐のために全力で努力してまいりたいと考えております。何卒、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

具体的には、①県人会幹事会でお世話になった、各地区の代表者の方たちを通じて、壱岐市の存在感を高めること。②当会、会員相互の交流を深くしてより親睦を高めること。③東京、東海、関西、福岡の各壱岐の会で活躍をされている壱岐出身者による、ふるさと壱岐への活性化のご協力をお願いすること。

まず、この3点を皆様のご協力を頂いて一緒に雪州会の発展に寄与したいと思っております。

現実の具体例を挙げますと、レオパレス21のコールセンターを作ったり、壱岐の活性化に寄与していた方があったり、壱岐で子供たちの野球大会を長年開催していただいている方々など、書ききれないほど壱岐に貢献されている方がいらっしやいます。

そういう中で、当会の名誉会長の万谷正さんは東京で経営する会社の社員旅行を「壱岐研修旅行」と称して毎年過去9回も連続して壱岐に約45人（社員＋関係者）の団体で壱岐を訪れて壱岐の活性化に協力されています。この件について本人に何度か聞いた事があります。「皆さん、毎年壱岐でよく飽きませんね？」返事「壱岐は食事が美味くて、自然が素晴らしいから何度行っても飽きない！」素晴らしい！！

この3年はコロナの影響で行けていないけど、来年以降も継続することです。

もう一人をご紹介します。東京で不動産会社を経営されている橋本孝次（雪州会理事）さんです。この方は会社のお客さんを15〜6年前から毎年夏場に13〜15組約40名を壱岐旅行に連れてきて、きれいな海で泳いだり、バーベキューをしたり、満喫してもらって活性化に協力をされています。

本人曰く、「新鮮な魚、壱岐焼酎、壱岐牛、アスパラ等に感激し、壱岐の自然に感動し、島民の優しさに触れあって、リゾート希望もあるよ」と。重ねて、一本でもジュース買ってもらえば、活性化になるし、帰ってから、いい仕事につながるし。（本音（笑））

この2つの事例は全国の壱岐出身者で実現していない、壱岐の活性化、移住計画にも貢献出来るのではないのでしょうか。是非とも実行して下さいれば有り難いです。壱岐が大好きな人たちの全国の壱岐出身者の集まりですから。

今年、壱岐から山本啓介さんが7月の参院選挙で長崎県選挙区から国会に出られたし、鶴瀬和博さんが長崎県議会議員に当選されました。壱岐市の存在感を高めるには強い味方になっていただけんじゃないかと思っております。よろしくお願いいたします。

最後になりますが、東京壱岐雪州会も現実問題として当会会員の年齢がかなり上がってきています。関係者の皆様におかれましては、現状をご理解いただいて、身内の方、お知り合いの方等、是非ともご紹介頂いて「一会員、一新会員紹介」の気持ちで、東京壱岐雪州会の末永い発展にご協力下さいますようお願い申し上げます。

【表紙の説明】△上段の題字 東京壱岐雪州会第3代会長の眞鍋儀十翁の筆による

△写真 写真左は郷ノ浦細崎から見た渡良半島と大島。初秋の波静かな入江の海岸風景＝撮影：村上安弘さん。写真右は壱岐で最も高い岳ノ辻（標高212.8m）の頂上から早朝に撮った壱岐東部方面の夜明けの風景＝撮影：副島清さん。副島さんは趣味のカメラを活かして、全国各地に出向いて撮影。令和元年には富士フィルム主催の写真コンテストで越後・山古志の闘牛写真でグランプリを受賞するなど入賞多数。

# アフターコロナに向けて施策推進 徐々に社会経済活動も再開

杵岐市長 白川 博一



東京杵岐雪州会の皆様には、日頃からふるさと「杵岐」の発展に思いを馳せ、

多方面からご支援を賜り深く感謝申し上げます。

また、「雪州会だより」の創刊第50号記念、誠にありがとうございます。これまで本市の情報発信等、多大なるご支援・ご協力をいただきありがとうございますことに対し、厚く御礼申し上げます。

はじめに、本市において新型コロナウイルス感染症の感染者が初めて確認されて以来、3年振りに行動制限のない夏を過ごしました。未だ終息には至っておりませんが、「新型コロナウイルス感染症との共生」を目指し、感染防止対策を講じた上での活動を基本として、徐々に様々な社会経済活動が再開されつつあります。

## 杵岐の子どもの活躍 市民に元氣と勇氣を

そのような中、昨今の杵岐の子どもたちの活躍は大変目覚ましく、杵岐市民に勇氣と元氣を与えてきています。3月に開催された九州中学生選抜軟式野球大会では、郷ノ浦中学校が優勝、長崎県中総体で優勝した勝本中学校が、九州中学校軟式野球競技大会で第3位となり、8月に北海道札幌市で開催された全国大会に出場し、ベスト16の成績を収めました。

市としては、杵岐の子どもたちが、将来に夢と希望を持って、たくましく飛躍していけるよう、引き続きサポートして参ります。

さて、7月の参議院議員通常選挙において、山本啓介氏が見事当選され、本市からは、1917年から1942年まで8期25年間衆議院議員を務められた牧山耕蔵氏以来、80年振りとなる国会議員が誕生しました。山本様におかれましては、3期12年に亘る長崎県議会議員の経験

と、豊富な知識に裏付けされた卓越した政治手腕が県民皆様に高く評価されたものであり、心から敬意を表する次第であります。国・県・市が一体となって効果的な施策推進ができるよう、ご尽力賜りますとともに、今後益々のご活躍とご健勝を祈念いたします。

## 民間人材や大学等の ノウハウ積極活用

また、コロナ禍での地方移住ニーズの高まりを背景に、本市では、他の自治体に先駆けて民間人材や大学等のノウハウを積極的に取り入れ、テレワークやワーケーションの環境整備を進めております。人口減少対策がより一層重要となる中、新たな施策を展開し、本市が進めるSDGsの基本理念である、「誰一人取り残さない」持続可能なまちづくりを目指して参ります。

今後も、市民皆様との協働を念頭に、市政運営に邁進してまいりますので、会員皆様には、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京杵岐雪州会の益々のご発展と、長峰会長様はじめ、会員皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念いたします。

### データは語る—ふるさと杵岐は今… (令和4年度)

杵岐の総人口	25,166人 (前年比477人減) (過去最高時 51,765人=昭和30年代)
内 訳	男性 12,063人：女性 13,103人
内65歳以上	男女計 9,707人 (杵岐人口比 38.6%=全国平均 28.4%)
杵岐の総世帯数	11,613世帯 (過去最高世帯数 11,716世帯=平成25年)
杵岐の年間観光数	226,105人 (令和3年1月—令和3年12月) ※予定値
杵岐市の年間予算	令和3年度決算 (一般会計・歳出) 237億6,087万5,291円
	令和4年度当初予算 (一般会計) 223億9,000万円

(注) 総人口、人口内訳、65歳以上、総世帯数は令和4年7月末現在  
このデータは杵岐市役所のご協力により東京杵岐雪州会が作成  
※令和4年7月末現在、令和3年分の長崎県観光統計が未公表のため、予定値としています。

## 壹岐市発展のために皆様とともに

長崎県議会議員 鶴瀬 和博



日頃より、東京壹岐雪州会の皆様におかれましては、老岐市発展にご協力を

いただいておりますことに心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、本年7月10日執行の長崎県議会議員補欠選挙（壹岐市地区）におきまして、市民皆様のご信任を賜り、県議会議員として初当選をいたしました。市民皆様並びに各方面からの温かいご支援とご理解に、衷心より厚くお礼を申し上げます。これまでの市議会議員同様、引き続きのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて、本県においては、特定複合観光施設（IR）の誘致や本年9月23日九州新幹線西九州ルート（長崎（武雄温泉）が開業し、各地域に様々なプロジェクトが展開され、産業面でも、航空機やロボット・IoT等の新たな基幹産業化にかかる動きが見られるなど、100年に一度の改革の年とも言われています。

一方、新型コロナウイルスの収束は未だ見えず、これからはウィズコロナ、アフターコロナに向けた保健・医療・福祉機能と社会経済活動との両立を図っていく必要があると考えています。こうした県内外の流れや動きを的確に捉え、壹岐島の抱える課題解決に向けて、県選出国会議員の先生方をはじめ県、市と協力し本県、本市の振興発展のため取組みたいと思います。

最後に会員皆様におかれましては、ふるさと壹岐の発展のため引き続き温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、東京壹岐雪州会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。〈鶴瀬氏経歴〉平成3年3月長崎大学水産学部卒、同年ハウステンボス（株）入社、同8年同社退社後芦辺町在住、同11年9月芦辺町議会議員当選（以降通算2期）、同17年壹岐市議会議員当選（以降通算5期）、市議会議員長、県離島振興市町村議会議長会会長など歴任、令和4年7月長崎県議会議員（壹岐市選挙区）当選。芦辺町出身、54歳

## 雇用創出へ起業等の事業者支援も

長崎県壹岐振興局長 小畑 英二



東京壹岐雪州会の皆様には、日頃からふるさと壹岐の発展のため、一方

らぬお力添えを賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の流行から3年目を迎え、地域経済は依然として厳しい状況が続いており、加えて、ウクライナ情勢、円安などによる物価上昇などもさらなる追い打ちをかけている状況です。

現在、新型コロナウイルス感染症は、第7波の中ではありますが、行動制限の要請もなく、多くの観光客や帰省客が島を訪れ、以前の島の風景が戻りつつあり、今後も感染予防と社会経済活動の両輪の対策を推進することで、コロナウイルスとの共存も念頭に置きながら、さらなる島内の活性化を図ることが求められています。

壹岐振興局では、平成29年に施行された有人国境離島法のほか各種交付金等を活用した各種施策に壹岐市

と連携して取り組んでおり、特に島内で新たな雇用を生み出すため、起業や事業拡大を目指す事業者等に対する支援や、さらなる観光客誘致に向けた取組などを行っております。

### スマート農業等も推進

加えて、肉用牛やアスパラガス等施設園芸の振興をはじめ、にんにく、かぼちゃなど高収益野菜の拡大、スマート農業の推進にも力を入れていくところです。

壹岐島は風光明媚な景観、おいしい特産品など数多くの魅力が詰まった島であります。

東京壹岐雪州会の皆様には、より多くの方が島を訪れていただけるよう、壹岐島の魅力を発信していただき、ふるさと壹岐のため、引き続き温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京壹岐雪州会のみならずのご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、ごあいさついたします。

# 令和4年度の壹岐島観光事業の取組み 各種企画で来島観光客も徐々に伸びる

壹岐市観光連盟 会長 長嶋 立身



東京壹岐雪州会の皆様におかれましては、平素より壹岐の観光振興に対し、

多大なるお力添えをいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。また、貴誌「雪州会だより」が創刊第50号を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

さて、依然として各地で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう昨今ではございますが、行動制限の緩和もあり、島内外の観光産業も活気を取り戻しつつあります。当連盟では、昨年より引き続き実施中の「第2弾ふるさとで、心呼吸」の旅キャンペーン」を活用した「九州在住者限定！『壹岐 しま旅体験プラン』」を販売し、7月までに1092人のお客様にご来島・ご宿泊いただいております。8月も帰省や観光を目的に来島されるお客様のご利用で順調に数字を伸ばしており、以降も、同

キャンペーンの延長が決定したため、9月30日(金)まで販売を継続。イベントに関しては、6月5日(日)に「壹岐サイクルフェスティバル」を3年振りに開催することができました。感染症予防対策としてPCR検査での陰性証明の提出を求めたこと等により、例年より少ない参加者となりましたが、255人の方が颯爽と出走、うち242人が無事完走されました。

## 島外の情報発信・物販に力

また、今年度は島外での情報発信や物産販売にも力を入れて取り組んでおり、その先駆けとして、4月27日(水)に、新幹線博多駅構内の「九州 恵の玉手箱博多」店舗内に「実りの島イキノエキ」がオープンしております。翌28日(木)には、北九州市の「ジアウトレット北九州 ひまわりテラス」店舗内にも、壹岐の特産品・観光パンフレット等を設置することとなり、両施設とも、新たな壹岐の情報発信・物産販売の拠点として期待されております。帰省

の際などには是非お立ち寄りください。未だ逆風の中にある観光業界ではありますが、我々も壹岐市東京事務所を橋頭堡としながら、首都圏におけるメディア対策を強化し、新たな地域層の誘客等に努めて参る所存ですので、今後とも温かいご支援を賜りますようお願い致します。最後にになりましたが、東京壹岐雪州会の益々のご発展と会員皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。



3年振りの壹岐サイクルフェスティバル



## 壹岐をお得に楽しむカード 「一支國国民証」お申込受付中！

【発行手数料 1,100円】

船のチケット・宿泊・レンタカー  
お食事・お土産など割引特典が盛りだくさん！

お申込方法  
ご来島前 申込書郵送、壹岐観光ナビからお申込→  
ご来島後 各港の観光案内所で発行可能



壹岐島への旅行に関するお問い合わせ・お申込み

一般社団法人 壹岐市観光連盟  
会長 長嶋 立身

〒811-5133 長崎県壹岐市郷ノ浦町本村触620-1 TEL 0920-47-3700

壹岐観光ナビ 検索

e-mail ikikoku@poppy.ocn.ne.jp

〈緊急インタビュー〉

## 長崎県選挙区から80年振り国政へ 杵岐出身・山本啓介参議院議員に聞く

聞き手.. 東京杵岐雪州会 名誉会長 牧山 康敏



インタビューに応じる山本議員

2022（令和4）年7月10日に行われた参議院選挙の長崎県選挙区で杵岐出身の自民党候補・山本啓介さんが初当選した。杵岐出身で長崎県選挙区からの国会議員当選は19

17～1942年まで衆議院議員を務めた牧山耕蔵氏以来80年振りのこと。そこで山本議員に緊急インタビューし、国政に臨む決意や長崎県

の振興策、日本の安全保障問題等について聞いた。

（2022年8月24日・参議院委員会）

——今回は当選おめでとうございませう。山本さんの参議院議員当選に地元長崎県とりわけ杵岐市の皆さんや杵岐出身者の期待が強まっています。

山本議員 私は選挙期間中、あまり杵岐には帰れませんでした。それでも「杵岐のことは俺たちに任せろ」と言っている方々に一丸となって盛り上げていただいた。かつて教わった学校の先生や東京杵岐雪州会始め、東海、関西、福岡など各地区の杵岐人会の方々等全国各地からも多くの励ましや応援をいただいた。この盛り上がりや他の離島や県全域に広まりました。感謝しかありません。

**「人のために役立つ」意識**

——今回、国政に出ようと決意された動機は。

山本議員 大学を卒業して故郷島和夫先生（元防衛庁長官）の秘書をしていた時代から「自分以外のこと、何か皆さんのために役立つことをやる」という意識があった。これは親の言うことや本などを読んで、そういう発想は以前からあったように思う。ただ、意識と、実際に選挙に出ることは全く別のもの。お世話になった故郷島先生や、今回は谷川弥一先生、特に金子原二郎先生（前農林水産大臣）の導きで当選させていただいた。県議会に3回送っていただき自民党長崎県連総務会長や同県連幹事長も務めさせていただいたお陰で、感謝の気持ち一杯です。

——具体的な課題について伺いた



参院選では岸田首相も応援に

い。日本一の離島県である長崎県は人口減少率が全国でも高い。この実態をどう考えますか。

山本議員 昭和30年代から全国的に地方は人口減少に転じていた。長崎県は日本列島の西端に位置し地政学的な背景もある。そのため県庁所在地である長崎市は人口を留める人口ダム機能を果たせていない。離島を含め県内の人も福岡や佐賀などに出る長崎市など県内に留まる人が少ない。やはり県内21市町がそれぞれ自己完結型で取り組むしかない。

経済や物の流通をスムーズにするには長崎県はハード面、つまり道路や空路などを整備し、同時にソフト面の充実も必要だ。それぞれの地域には特有の地場産業がある。杵岐で



参議院の委員会に出席の山本議員  
(3列目の右から2人目)

は焼酎醸造などがその代表例です。次世代に継承出来るようにサブプライチエーン（供給網）も大なり小なり確立されている。商売や宣伝など出来るものは民間がやり、行政は枠組みを作り、民間をしつかり支えることだ。何でも税金や補助金に頼るのはよくない。島の話ばかりになるが、島の品物は値が高いというが、それだけ美味しいのだ、と強く伝えていくことも必要ではないか。

——離島の活性化には昭和28年から施行されている離島振興法の役割も見逃せない。今年度末で10年の延長期限がくるが、延長継続の見通しは。山本議員 通常のルーチンなら延長期限のくる前年度、つまり今年度の通常国会に延長法案を提出する。

ただ今年には参院選挙などもあって遅れている。ただ自民党離島振興特別委員長の谷川先生が党内手続きをさされておられ、野党との協議を経て今年中に提出。スケジュール的にはややきついが10年延長の方向は変わらな

### 厳しい日本の安全保障環境 有人国境離島法の役割増す

——今年2月、独裁国家ロシアはウクライナに侵攻し、核使用にまで言及するなど国際情勢は一気に緊迫化。加えてアジアでは覇権主義の中国が軍事力を背景に無謀な海洋進出で国際秩序を乱すなど日本の安全保障問題が問われている。この実情をどう考えますか。

山本議員 まず我が国を外国の干渉から如何に守るかが第一。その前提として自衛隊の役割が重要となる。自衛隊の存在について、現行憲法が健全かと言われればそうではないと思う。まず憲法改正について国会で議論が行われなければ安全保障の議論も進まないのではないか。

ロシアは普通の国であるウクライナに一方的に侵攻した。国際秩序を踏みしめる許しがたい暴挙だ。日本の周囲では北朝鮮や中国が軍事力を強め核開発やミサイルを発射。ロシアの西隣はウクライナ、そして東隣は日本。加えて北朝鮮や中国に囲ま

れており、日本の安全保障はいま脅かされている。日本と韓国には米軍が駐留している。日本は日米同盟を基軸に日米韓の協力が重要となる。ただ日本には米軍が駐留しているの

で外国から侵略されないなどと他人事のように安閑としてはいけないと思う。

——この国際状況下では防衛力の強化は当然としても併せて外交努力も必要では。

山本議員 私は外交と国防はパッケージだと考えている。両輪であるならば外交と同時に国防も重要だろう。ウクライナも台湾も外交努力はやっていく。でもロシアは一方的にウクライナに侵攻した。防衛力増強については我が国政府も、現下の厳しい国際状況を国民に良く説明して理解を求める必要があると思う。

——こうした情勢下では壱岐島を含む有人国境離島法の役割も増すのでは。

山本議員 平成29年施行の有人国境離島法の問題については谷川先生が命がけで取り組んでおられる。この法律は沖繩振興法などと並んで国が一部地域を支援するというもの。航空・航空運賃の低廉、物流コストの支援、雇用機会の創出、滞在型観光客の誘致支援が骨子です。重要なことは有人国境離島を無人島にしないことが第一。国境離島の優位性はそ

の島に人が住んでいること。そのためには公共事業などのほか、教育、医療、福祉、防空、産業、風水害対策などの充実が欠かせない条件となる。こういう厳しい国際環境だからこそ、この法律の役割は益々重要になります。

### 地方創生や安全保障など 課題解決に全力尽くす

——山本さんが今後、国会議員活動を通じて、得意分野として取り組みたい問題は。

山本議員 やはり地方創生問題は地域振興の観点から、離島出身、県会議員として長きにわたって現場の声を聴き、課題解決に取り組んできた。国防・防衛についても日本を守るといふ観点から多くを学んでいる。憲法改正問題は日本の根本にかかわる問題なので実現に向けて勉強を続けたい。壱岐に関しては当然ながら農林水産業や地場産業の振興など重要課題として考えています。

### 大切な人との繋がりを協力 若人よ世界に目を向けよう

——今回の山本さんの参議院議員当選は壱岐在住の若い人や島外にいる若者にも強い刺激になっていると思います。メッセージを。

山本議員 私は36歳で県会議員になり、45歳で自民党県連幹事長に推さ



県議時代に雪州会総会で挨拶する山本さん（2019年10月）

には改めて「世界の現実」にも目を向けてもらいたいです。

——東京雪州会は今年で創設105周年、『雪州会だより』は創刊50号記念となります。何か期待なり注文などあれば。

山本議員 かつて上京した若者達を応援することが目的だったと聞いたが、そんな人達の紹介はどうでしょうか。

——東京長崎県人会、長崎県人クラブについても何か。

山本議員 県人会や県人クラブの皆さんは日頃の活動を通じて、故郷長崎の発展にも思いを寄せておられるものと思います。今後とも地元長崎県へのご協力も期待しております。

——本日はご多忙の中、長時間、多岐にわたり誠実且つ率直にお話いただき有り難うございました。今後、国政の場で存分なご活躍を期待しております。

れ、それぞれの役職を精一杯務めてきた。雪州の島でも今、若い人が何かに目を向けて取り組んでいらっしやることは確か。そのポジションを掴むには日頃から周りの人との繋がり、先輩のご協力のお陰がなければ、自分だけで突発的に実現するものではないということです。

私はインドの企業を雪州市に誘致するためインドも訪問し、すでに実現している。その情報通信会社の責任者の夫人がウクライナ人で、現在ご夫妻でウクライナ人の日本への避難に、雪州にいながら奔走されている。

僕たちが雪州の島から見ている海は世界に通じているなどと今更言うまでもないが、若い人や子どもたち

## 皆さまの博物館

### 夏の各種企画に大人も子らも コロナさえ一瞬忘れて楽しむ！

一支国博物館 館長 須藤 正人



この原稿を、締め切り間近の8月23日、自宅で書いています。昨日、新型コロナウイルスの4回目を終えました。ところが、今までにない、副作用の倦怠感に襲われ、館長勤務を休みました。この間も、博物館の人々は各自の任務に一所懸命です。その姿は、私の元気の源です。

6月には「このままコロナが収束してくれるのではないか」と期待したものでした。しかし不安の日々が舞い戻り、コロナとの闘いの毎日。そして夏休みが始まり、館内に小学生などの元気な姿が、戻ってきました。

7、8月は弊館が誇る「夏休み企画」の目白押しです。◎栄養満点のチリメンジャコの中の小魚以外の生き物を見つけよう。◎川に入って魚・虫・貝をさがそう。◎美しい雪

岐の星空を楽しもう。◎身の回りの多くの虫に注目。

### 科学を学びつつ遊ぼう 弥生時代の生活体験も

◎大きなカエルとカエル先生がやって来る。◎理科博士を目ざして科学を学び遊ぼう—など自然とかかわる催しが目立ちましたが、歴史的なものとして「腰機」（こしぼた）体験がありました。

その昔、織物を作る機械の一部分を「機織女」（はたおりめ）の腰に結び付け、布を織っていました。雪州の弥生時代の生活を現代の人々に体験していただきました。

それぞれの企画に参加された大人も子供も、その瞳は輝き、コロナさえも一瞬忘れる、楽しい時を過ごすことができたようです。来年の夏の企画もご期待ください。博物館は皆さまのためにあります。頑張ります。

# 全国初の農業版マルチワーカー組織発足 農業従事者の増加と岐阜市活性化に全力

岐阜市農業協同組合 代表理事組合長 川崎 裕司



東京 岐阜雪州会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、格別のご支援を賜っております事、心より御礼申し上げます。

さて、岐阜市の農業振興に向けた活動と農業情勢についてご報告いたします。当JAでは、昨年11月にこれからの岐阜農業の発展に向け、営農振興10ヵ年計画「第9次営農振興計画」を県や市、関係機関との連携のもとに策定いたしました。「若者が希望を持ち、生き生きと豊かな生活を営むことができる魅力ある農業」の実現を目指し、「販売高100億円、新規就農者100人、集落営農100組織」の『3つの100』を目標に取り組んでおります。

また、昨年8月には全国で初となる『農業版マルチワーカー』の創出

に向け、特定地域づくり事業協同組合『岐阜市農業支援事業協同組合』が誕生しました。本組織は、雇用労働力を必要とする農業者にマルチワーカーを派遣し、労働不足を解消するとともに、安定した所得を確保いただけるながら、農業経営技術の習得を図ってもらい、未来の農業従事者を増加させる仕組みを構築することを



紙面とデジタルを活用した進化する営農振興計画書 完成

目的とした組織で、農業版としては全国初の取組みとなります。農業情勢について、園芸ではアスパラガスが15年連続となる県下反収1位の快挙を成し遂げました。畜産においては、原油及び飼料価格高騰等による影響を受けていますが、農家組合員皆さまの努力もあり、価格を維持できております。

## 全国和牛能力共進会 県代表で岐阜牛4頭出品

また、今年10月には鹿児島県にて和牛のオリンピックと称される「第12回全国和牛能力共進会」が開催され、岐阜市より種牛の部で1頭、肉

**オンラインショップが新しくなりました**  
 岐阜牛をはじめ、岐阜の特産品のみを取り扱っております  
 ぜひ、ふるさと「岐阜」の味覚をお楽しみください♪

↓「岐阜めし」のご利用はコチラから↓

オンラインショップを新たに岐阜産品に特化した「岐阜めし」で展開

牛の部で3頭、計4頭が県代表牛として出品されます。岐阜牛の名がさらに全国に広がることを期待しております。

今後ともふるさと岐阜への一層のご支援・ご協力をお願いいたしますと共に、東京岐阜雪州会の限らないご発展と、会員皆様方のご健勝ご多幸をお祈りいたしましてご挨拶いたします。



和牛のオリンピック「全共」へ長崎県代表として

## 令和4年度コロナ禍の取組 3年振り郷ノ浦八日市開催

壱岐市商工会 会長 吉田 寛



東京壱岐  
雪州会の皆  
様には、日  
頃よりふる  
さと壱岐に  
ご支援を賜  
りまして心

より厚くお礼申し上げます。また、  
機関誌「雪州会だより」創刊50号お  
めでとうございます。

本会はコロナ禍の影響で、昨年度  
ほとんどのイベントを中止せざるを  
得ませんでした。今年度に入り壱岐  
の風物詩の各町の「春の市」も相つ  
いで中止となりました。しかし、郷  
ノ浦の「八日市」だけは青年部の熱  
い思いを乗せて3年ぶりに開催しま  
した。コロナ禍以前よりは出店事業  
所も少なく、規模を縮小して感染症  
対策をとり、万全を期しました。は  
たしてコロナ禍でどれくらい来場い  
ただけるか、感染拡大につながらな  
いかと心配しましたが、多くの方に  
来ていただき、久しぶりに楽しそう  
なたくさんの笑顔を見ることができ  
ました。また、心配していた感染症

拡大に至らず、影響は特になく、島  
の活気を少しでも取り戻せたことが  
良かったと思います。

### 「壱岐の島夜空の祭典」も

さらに8月13日には勝本浦で昭和  
56年から始まった「壱岐の島夜空の  
祭典」も3年ぶりに開催しました。

当日は直前までの雨で中止の心配も  
いたしましたが、打上げの頃には雨  
も止み、2000発の花火が夜空を  
彩りました。

コロナ禍にあつて、徐々にイベン  
トが開催され、賑わいを取り戻しつ  
つあります。新型コロナウイルスが  
一日も早く収束して、以前のように  
盛大に開催できることを願うばかり  
です。今後とも本会の活動並びに市  
内事業所に対しまして、ご支援を賜  
りますようお願い申し上げますと  
もに、皆様のご健勝とご多幸を心よ  
りお祈り申し上げます。



勝本の花火大会 (壱岐新聞社提供)



3年振り開催の郷ノ浦八日市

## 壹岐焼酎業界の現状と今後

長崎県酒造組合 会長  
雪岐酒造協同組合 理事長  
山内 昭人



東京雪岐  
雪州会が、  
会報「雪州  
会だより」  
創刊50号記  
念特集を發  
行されまし

たことを心からお喜び申し上げます。  
さて、日頃より雪岐焼酎の拡充、  
PR、情報発信にご協力いただき誠に  
有難うございます。「雪岐焼酎」  
は四百年以上の歴史と伝統を保ち  
「麦焼酎発祥の地」と言われています。  
また、平成七年にはWTO（世  
界貿易機関）のGI（地理的表示）  
の産地に指定されました。簡単に言  
うとアルコールの世界遺産であります。

### 各種企画・催しが具体化

雪岐焼酎業界の現状を紹介しま  
す。取り組みとして七月一日を「雪  
岐焼酎の日」とし記念日協会に登録  
とイベントの開催、雪岐市議会条例  
による「雪岐焼酎で乾杯」の推進、  
乾杯焼酎と乾杯グラスの商品開発、  
雪岐焼酎ミニミュージアムの設置、

島内外での試飲・販売や情報発信等  
に努めてきました。その結果、皆様  
に雪岐焼酎の特徴「麦の風味の中に  
米麴の天然の甘さある」を理解して  
頂いています。

しかしながら島外での知名度はま  
だまだ低いのが現状であります。ま  
た、焼酎粕の処理方法の再確立が求  
められています。このような現状、  
課題を抱えてはいますが、酒造組合  
員一丸となって新たな取り組み（品  
質の確立・酵母の開発など）を検討  
も行っていきます。

### 県産酒の消費拡大に注力

また、長崎県内での長崎県産酒の  
消費が年々減少しており、県のお力  
を借りながら消費拡大への取り組み  
を行っています。

これからも各地域の雪岐人会の皆  
様方、雪岐の歴史や風土・文化と共  
に「雪岐焼酎」の情報発信をよろし  
くお願い致します。  
終わりに、東京雪岐雪州会のみす  
ますのご発展と会員皆様のご健勝、  
ご活躍をお祈り申し上げます。

## 雪岐東部漁協の「さわら『極』」 ブランド化で水産庁長官賞受賞

雪岐市漁業協同組合長会 会長 大久保 照享



雪岐島  
は、主な魚  
種ではスル  
メイカやケ  
ンサキイ  
カ、ブリ類  
やクロマグ

活力再生プラン優良事例表彰におい  
て水産庁長官賞を受賞しました。徹  
底した品質管理が所得向上へと繋  
がったこと等が高く評価されたもの  
と思います。

口、サワラ等が一本釣り等で漁獲さ  
れるとともに、ウニやサザエ、アワ  
ビ等を対象とした採介藻や、回遊し  
てくる魚を待ち受ける定置網等が営  
まれる沿岸漁業が盛んな島です。

しかしながら近年の雪岐島の水産  
業は、10年前に6千800トンで  
あった水揚げ量が2千500トン、  
46億円あった水揚げ額が21億円と、  
水揚量、水揚額ともに年々減少の一  
途を辿っております。また5つの漁  
協（郷ノ浦町・勝本町・箱崎・雪岐  
東部・石田町）の組合員数も10年前  
に比べ約7割に減少しており、漁港  
内の漁船数が減少していく状況に寂  
しさを感ずるところです。

このような取組をはじめ、新たな  
漁法への挑戦や先進的な水産技術の  
導入による操業の効率化等により、  
漁獲減少や燃油の高騰、魚価安等、  
厳しい状況が続く沿岸漁業ですが、  
今後とも雪岐水産業の発展と漁業就  
業者の減少に歯止めをかけるべく、  
漁業関係者一丸となって取り組んで  
まいります。皆様におかれまして  
も、より一層のご支援・ご協力をお  
願いたしますとともに、皆様方  
のご健勝とご多幸を心から祈念申し上  
げます。

こうした中、雪岐東部漁協の『さ  
わら『極』』のブランド化への取組  
が、全漁連主催の令和3年度 浜の

「我が友」を語る／石田中学野球部の仲良し3人  
 ／キューチャン、ケンチャン、マサチャン／

## 野球チームは勝負にこだわらず気楽に 指導力抜群のケンチャンが主将兼監督

東京壱岐雪州会 特別顧問 森谷 正規



母が5人の子供を連れて山口から縁あって壱岐に移ったのは、中学2年の時

だ。石田町の印通寺だが、すぐに馴染んだ。隣に同じ年の山内久平君が、少し先に平田賢次郎君がいて、2人も元は壱岐だが戦後に壱岐に帰って、小さい頃に育ったのは外であり、気が合って、キューチャン、ケンチャン、マサチャンと呼んでたまに仲良しになった。

毎日、3人が連れ立っていたが、何もない時代で、どのような遊びをしたかほとんど覚えていない。ケンカした記憶はなく、何もないけど楽しく過ごしていた。忘れられないのは野球だ。ケンチャンはどっしりした体格でキャッチャーにびったりで、指導力が抜群で、野球を知った先生はいなかったので主将兼監督で

あり、守備と打順を決めるのはケンチャンだった。キューチャンは小柄だが敏捷でサードを守った。

### 打順は4番・守備はライト ケンチャンが最良した？

私は背が高く、たまに当たると飛ぶので、マサチャンは4番を打つと言われ、足は遅く運動神経は鈍く、守るのは球が来ないライトだ。これは今も自慢のタネだが、ライパチという言葉をご存じだろうか。部員が10名余りの弱小野球部のことで、打てない守れない者も選手にして、ライトで8番を打たせるといふ揶揄だ。ライトで4番は強打者に見えるが、正直に言えばケンチャンが最良の私を最良したのかもしれない。当時の野球事情は、グローブ（グラブ）がまともには無いほど悪かった。私は小学生から野球で遊んだが、グローブはテントの生地を縫って作って、親指が大きく本物に近いのを持っていたが、ケンチャンに「マサ

チャン、サードのキューチャンにやれ」と取り上げられた。

石田中は実のところは、私が選手になるのだから弱小チームで、しかも猛訓練した記憶は無い。戦績は芦辺町と那賀村に行つて戦い、石田にどの中学か迎えて3試合戦つて、勝つて大喜びした覚えは無い。白状すれば自慢は出来ず、皆で気楽に遊んでいた。

### ケンチャンの長崎県議選挙 ニーキューカイが猛烈応援

成人してからは、ケンチャンが長崎県議会議員になったのが大事であつた。俄の立候補で圧倒的に不利とみられたが、ニーキューカイの猛烈な頑張りがあつて辛うじて当選した。これは昭和29年壱岐高卒の会で、選挙で壱岐在住の者たちが大いに働き、博多の者が様々に貢献し、私も2度はるばると応援演説に行つた。当選したケンチャンは県議会の土木委員長になって、壱岐高の校舎新築を急がせるのに大いに働いたという。

29年卒にとってニーキューカイは大きな存在であり、この言葉が懐かしさと楽しさを浮かべせる。東京には20数名もいて、毎年例会を開いていたが、10数名が参加して賑わっていた。全国大会を博多や壱岐で3度も開いて、遠くから数10名が集まっ

た。

ケンチャンもキューチャンも、豪快で、気っ風がよくて優しくもあつて、男が惚れる九州男児だ。壱岐に住んだのは5年足らずだが、2人との交友が私という男を作つたと思つている。他に先輩、同学年、後輩と九州男児の仲間が多く、私の真の友人は皆、壱岐の荒男だ。

（雪州会第9代会長・放送大学名誉教授）



石田町の大浜海水浴場＝壱岐空港下（村上安弘さん撮影）

# 西九州新幹線開通で全国的な大型観光PR JR主要駅で県内各地の観光情報掲載など

長崎県東京事務所長 村田 利博



東京 杵岐  
雪州会の皆  
様におかれ  
ましては、  
1917年  
(大正6年)  
の創立以

来、故郷・杵岐をはじめ長崎県の発展に多大なご支援・ご協力を頂いておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

さて、長崎県東京事務所は「長崎県と首都圏を結ぶ総合窓口」として、国等との連絡調整や各種情報収集のほか、マスコミを活用した本県魅力や県産品のPR活動、県外企業の本県への誘致活動などを行っています。今年度も新型コロナウイルスの影響により貴会総会が中止となるなど、皆様との交流がかなわないところですが、昨年度に引き続き、県人会各地区会代表者様あて「観光物産イベント情報等のメルマガ」の発信などをしてまいります。

## 日本橋長崎館に品揃え 杵岐の水産加工品など

「日本橋長崎館」でも新型コロナウイルスの影響を受けていますが、これまでどおり塩うなぎなどの水産加工品やゆず関連商品、新たにクラフトビールの販売を始めるなど、豊富な杵岐の商品を取り揃えており、再開したイトインコーナーでは杵岐焼酎を含めた飲み比べセットが好評です。また、同館の「公式オンラインショップ」でも多くの杵岐の商品をご購入いただけますので、店舗と併せてご愛顧のほどよろしくお願ひ申し上げます。

さて、西九州新幹線が9月23日に開業し、観光客の増加など交流人口の拡大に大きな期待が寄せられています。

長崎県におきましては、開業効果を県内各地へ広く拡大・波及させるため、10月から12月に全国規模の大型観光PR「佐賀・長崎ステイネーションキャンペーン」を官民一体となって展開いたします。全国のJR

主要駅や旅行会社などに設置される公式ガイドブックに、杵岐焼酎や杵岐イルカパーク、辰の島遊覧など杵岐の情報をはじめ、県内各地の魅力あふれる観光情報を掲載するなど新幹線の沿線外にも足を運んでいただけるよう全国に向けて発信することとしていきます。

長崎県東京事務所としましては、ふるさと長崎のために、今後もしっかりと取り組んでまいりますので、皆様におかれましても、引き続き温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京杵岐雪州会の今後の益々のご発展と、会長の長峰様をはじめ会員皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

◀ ↓ 日本橋長崎館公式オンラインショップ ↓ ▶  
(<https://nagasakikan-ec.com/>)



日本橋長崎館公式オンラインショップ

◀ ↓ 佐賀・長崎ステイネーションキャンペーン ↓ ▶  
(<https://www.saga-nagasaki-dc.jp>)



←公式ガイドブックは、日本橋長崎館にも置いてあります

↑ 佐賀・長崎ステイネーションキャンペーン公式ガイドブック



杵岐・辰ノ島遊覧船からの眺め



西九州新幹線かもめ

# 東京事務所着任のご挨拶 日本の中心で杓岐の存在感放つ

杓岐市東京事務所長 篠原 一生



東京杓岐雪州会の皆様は、常に故郷・杓岐との絆を大切にされ、

弊所の活動に対して、日頃より多大なるお力添えをいただいておりますことに對し、この場をお借りしまして、改めて心からお礼申し上げます。

弊所は万谷名誉会長が経営されるファウンテック様の一角に令和2年4月に開所し、3年目を迎えます。これまでコロナ禍の中ではありましたが、都内旅行会社への営業活動及び杓岐産食材の販路拡大を主な業務とし、活動を行ってまいりました。

## 東京で徐々に着実に 広がる杓岐の魅力

その成果の一端といたしまして、今年度上半期に杓岐を訪れたツアー客数の約4割が東京方面からの報告が発表されております。

また、今年度に入り、都内のホテ

ル・飲食店で杓岐の食材を活用し、それぞれの形態・客層に合わせた杓岐フェアを開催いただき、杓岐の自然の恵みを都内の方に知っていただく、良い機会となっております。

杓岐の様々な食材を都内で購入いただける物産展も、今年度すでに2回開催されました。

また、スーパリーのライフには恵比寿ガーデンプレイス店を含めた4店舗に杓岐牛コーナーを設けていただいております。

## 交流人口の増加に加え 杓岐の共創人口増加も

皆様ご承知のとおり、日本の人口は30年後には1億人を切り、40年後には生産年齢人口の約4割が減少するとの予測がございます。

日本全体の人口が減っていく中、100年後、1000年後も杓岐に住む人々がイキイキと生活できる島であり続けるためには、杓岐に住んではいけないが杓岐に愛着や共感を持つ方々との縁を生かしながら、共に杓岐の未来を創っていく必要がある

と考えております。

そこで今後は、誘客促進及び物産販売促進に加え、人口が集中する東京で、杓岐の共創人口（杓岐に対して主体的に貢献を行おうとする方）を増やしていく施策についても挑戦していきたくと考えております。

弊所の活動には、会員皆様のお力添えが不可欠でございますので、今後ともよろしくお願いいたします。



【帝国ホテル】  
帝国ホテルの杓岐特別コースはすぐに満席



【フォルカフェ】  
原宿のフォルカフェとのコラボは85のメディアで紹介



【松本楼】  
GWに日比谷松本楼で杓岐マルシェが開催



【杓岐物産展】  
夏休みに合わせ交通会館で杓岐物産展が開催

※昭和52年生まれ、郷ノ浦町出身。西南学院大学卒業後、郷ノ浦町役場入庁（合併により杓岐市役所）。総務課、政策企画課、財政課を複数回を経て、福岡市役所に向。その後、地域振興推進課、SDGs未来課に籍を置きながら、杓岐市観光連盟、杓岐みらい創りサイト、富士ゼロックスにも出向。令和4年4月より現職。

第5回「雪州会賞」表彰

志岐高…五十嵐元君・商高…折元憂里さん  
中国語や各種検定に努力・未来へ輝く期待など評価

東京志岐雪州会は第5回「雪州会賞」(令和3年度卒業生対象)に県立志岐高校3年五十嵐元君と県立志岐商業高校3年折元憂里さんを決定し、今年2月28日両校の校長から表彰状を授与しました。「雪州会賞」は平成29年に東京志岐雪州会創立百周年記念事業として創設。毎年度に最も顕著な成績を収め、他の生徒の模範となる生徒を両高校から各1名ずつ表彰するもので今回が5回目。

今回受賞の五十嵐元君は中国語に高い関心を持ち意欲的に取り組み、全国や県主催の各中国語コンクール

(受賞者の言葉)

**志岐高3年 五十嵐 元**  
**志岐高で学んだ中国語を  
将来日中交流に貢献したい**

このたびは、このような賞をいただき光栄です。私は志岐高校東アジア歴史中国語コースで3年間中国語の学習に励んできました。

その中で私は、1年次に京都外国語大学主催の第23回全国高校生中国語スピーチコンテストに出場し、2

大会において優秀賞に輝くなど、学業においても高い成績を収めた。また、部活ではテニス部に所属し、チームをまとめ牽引した努力などが評価された。

一方、志岐商高の折元憂里さんは明るく前向きな性格で、3年間を通じて情報処理・財務諸表分析・簿記実務・珠算・電卓・ビジネス実務等の各種検定に挑戦し、上位級を取得した。また、高い学業成績を収めたことが評価された。

(東京志岐雪州会 名誉会長 久原 順一)



位相当の中華人民共和国大阪総領事館教育室賞を受賞しました。また、2年次には北陸大学主催の第6回全

国高校生中国語発表会に出場し、中級リーディング部門で1位を獲得しました。他の高校に進学していれば絶対できない経験をすることができました。志岐高校に進学し中国語を専攻してよかったですと思っています。4月からは関西大学で引き続き中国語の学習をします。将来は日中交流

(受賞者の言葉)

**志岐商高3年 折元 憂里**  
**目標を叶えた高校生活、将来の夢は  
ヘアメイクアップアーティストに**

このたびは東京志岐雪州会賞を賜り、光栄に思います。

私は高校生活で勉学に一番力を入れて頑張ってきたのが、定期考査で商業科1位になる目標でした。家庭での学習時間は毎日2時間以上、定期考査の前は6時間以上の学習を徹底しました。初めは商業科2位止まりで、それが2年次まで続くと、もう無理かなと諦めそうになりました。しかし「ここで止めてどうする」と自分を鼓舞し、目標だけを見て必死に頑張りました。そして高校3年になり、初回考査で1位を獲得し、自分にもできるという自信を得ました。次ぎに継続を目標に努力を重ね、気づくとこの1年間全ての考査において1位を維持することができました。検定においても、上位級の

に貢献出来るように、もっと中国語の能力を高めていきたいです。最後に、このたびの受賞に至るまで私を支えて下さったすべての人々に感謝しています。ありがとうございます。

(注…五十嵐君は、今春希望の大学に進学)



資格を取得することができました。私の努力は地味でしたが、それを先生方に評価していただき、このような賞をいただき、心から嬉しく励みになりました。

卒業後は美容学校に進学します。そこで勉強し、夢であるヘアメイクアップアーティストを目指して頑張っていきたいと思います。

(注…折元さんは、今春希望の専門学校へ入学)

〈県立壹岐高校〉

# 「校則」大幅改正！主体性伸ばす教育

長崎県立壹岐高等学校 校長 濱野 正義



まずは、東京壹岐雪州会の創立105周年及び創刊第50号の記念発行を心からお喜び申し上げますとともに、今後益々のご発展をお祈り申し上げます。それでは、本校の近況をご報告いたします。

これを書いている8月末現在、壹岐島内でもこれまでになかった数の新型コロナウイルス感染者が出ている状況です。しかし、学校においては「withコロナ」の考えのもと十分な感染対策をとりながら、教育活動を実施しているところです。

昨年度1年かけて生徒、保護者、教職員で話し合いを進め、今年度より「校則」を大幅に変更いたしました。時代の流れを考慮し、主体性を伸ばせる教育活動を展開したいと考えてのものです。同時に女子のスタッフス導入も行いました。

3年ぶりに実施された高校総体の開会式では、本校生徒は1番目の入場となり、会場の注目を一齐に浴びながらも、立派な堂々とした行進を披露しました。翌日から行われた各種競技において、サッカー部が8年ぶりに初戦突破、バスケット部が25年ぶりにベスト16など、どの部も力の限り戦っていました。そして陸上部男子400Mで竹下紘夢(高2)が優勝し、その後の九州大会で入賞を果たし、12年ぶりに本校からインターハイに出場することとなりました。

## 高校総体で各部活躍目立つ 野球部は3年連続ベスト8

また、野球部は全国高校野球選手権長崎大会で、第3シードの諫早農業高校を倒し、3年連続のベスト8に進出しました。その際、多くの卒業生をはじめ島内のあらゆる方々から激励のお言葉を頂きました。支えていただいた多くの方々に感謝いたします。今後も生徒たちの頑張りを

支えていきたいと思っております。

最後になりましたが、壹岐高校のミッシヨンは地域との協働を図りながら、生涯にわたって主体的に努力し続ける人材を育成することであると思っております。

壹岐高校の在校生(令和4年9月1日現在)

	男子	女子	合計
1学年	73	80	153
2学年	58	66	124
3学年	70	59	129
合計	201	205	406

す。そして将来、壹岐の活性化に貢献しようとする人材を送り出せる学校でありたいと願っています。そのような学校づくりのため、今後とも皆様のご支援・ご厚情をよろしくお願いいたします。



陸上インターハイ出場



高校総体ベスト16男子バスケット部



全国高校野球選手権長崎大会3年連続「ベスト8」

〈県立沓岐商業高校〉

## 「友と共につくる」合言葉に 今春卒業の就職者の半分以上が島内

長崎県立沓岐商業高等学校 校長 宮崎 伸一



東京沓岐  
雪州会の皆  
様におかれ  
ましては、  
ますますご  
健勝のこと  
とお喜び申  
し上げます。

コロナ禍で皆様方にお会いできな  
いまま1年が過ぎ、2年目となりま  
した。今年度も生徒のため、学校の  
ために持てる力を発揮したいと思っ  
ていますので、どうかよろしくお願  
いいたします。

さて、学校の現況ですが、3月に  
78名の卒業生が力強く母校を巣立っ  
て行きました。進路状況は就職が42  
名、進学が36名です。うち島内に就  
職した生徒が21名となり、就職者の  
半数が地元で働くことになりました。  
今後さらに地域を盛り上げていく  
れることと期待しています。令和4  
年度は4月に入学生73名を迎え、全  
校生徒241名（2年生89名、3年  
生79名）でスタートしました。今年

度は「ともに支え、ともに学び、と  
もにつくる」を合い言葉として、友  
と共に活動して多くのものをつくっ  
てほしいという願いを込めています。

### 情報処理競技県予選 9年振りの団体優勝

部活動の県大会では、県高総体お  
よび野球の甲子園予選で開会式が3  
年ぶりに開催されました。一部入場  
制限等があり

ましたが、大  
会は徐々に本  
来の姿に戻り  
つつあり、出  
場した生徒た  
ちは最後まで  
諦めず一生懸  
命に頑張っ  
てくれました。  
そのような生  
徒たちの日々  
の努力が実を  
結び、情報処  
理競技会県予

沓岐商業高校の在校生(令和4年9月1日現在)

	男子	女子	合計
1 学年	29	44	73
2 学年	51	38	89
3 学年	35	44	79
合 計	115	126	241



情報処理競技会県予選（9年ぶり団体優勝）

選では9年ぶりに団体優勝を果た  
し、7月末に千葉県で行われた全国  
大会に出場しました。また、女子ソ  
フトボール部は県公立高校大会（県  
高総体で優勝した長崎商業高校は除  
く）で優勝し、来年3月に宮崎県で  
行われる九州大会への出場権を得る  
ことができました。このような生徒  
たちの頑張りが起爆剤となり、これ  
からの商高をさらに盛り上げてくれ  
ることと期待しています。

結びになりますが、東京沓岐雪州  
会の皆様のお支えとご健勝とご活  
躍を祈念いたしますと共に、今後も  
沓岐商業高校へのご支援ご協力をい  
ただきますことを心からお願い申し  
上げます。皆様方にお会いできませ  
んことを楽しみにしております。



沓州荒海太鼓部（地域の行事で演奏しています）



ソフトボール部（県公立大会で優勝）

『雪州会だより』創刊50号記念に寄せて

## 会員や故郷との情報交流で絆深め 激動の半世紀へ雪州会の変遷綴る

『雪州会だより』編集担当 牧山 康敏



東京 彦根  
雪州会の機  
関誌『雪州  
会だより』  
は、197  
3（昭和  
48）年創刊

以来今年で第50号記念の節目を迎えた。創刊時の昭和48年といえは第1次中東戦争の影響で全国にトイレットペーパー不足による「買い占め騒動」が巻き起こった記憶が蘇る。20世紀から21世紀へ激動続く変遷の中で、会員の皆さんや故郷彦根の方々など多方面のご協力によってお互いの絆を深めてきた第50号記念。この半世紀の軌跡を概観し、同時に関係者の皆さんにその思いを語っていた。

「古里は良きかなとは文人の诗情のみでは無い。等しく吾等の感傷でなくてはならぬ。そこに思いを致した雪州会同人が、この会員の郷愁を充たさんとして、ここに『雪州会だよ

り』を編輯して彦根人の香り高い生の消息をお贈りする。」

創刊を提唱し主導した第3代雪州会長の眞鍋儀十翁は発刊の辞でこう記した。

眞鍋翁は戦前戦後を通じて東京選出の衆院議員として普選運動等でも活躍。松尾芭蕉の研究者としても知られる。題字も儀十翁の筆による。

### インタビュアーや特別寄稿

#### 作家高樹のぶ子さんら

私はこの『雪州会だより』の第31号（2003年）から編集担当になった。創刊当初からご尽力された先輩諸兄に想いを致しながら編集に当たった。創刊の初期は主に会員同士の情報交換にとどまっていた。

ただ故郷を遠く離れた雪州会員にとって彦根がどう変化し発展しているかに関心を持つのは自然の心情である。その観点で、彦根市誕生（2004年）に先立ち前年発行の第31号では「彦根市発足記念」特集を組み、彦根4町長（郷ノ浦・勝本・芦

辺・石田）に近況報告をお願いし、誌面でご紹介した。

当時の金子原二郎長崎県知事（前農林水産大臣）の特別寄稿や政府の地方制度調査会長の諸井虔（太平洋セメント社長）さんには「地方自治のあり方」についての特別インタビュー。また彦根に度々来訪して「彦根は私の心のふるさと」と語った芥川賞作家の高樹のぶ子さんとのインタビュー記事等と同じ第31号の誌面に紹介出来たことも懐かしい。

中でも高樹さんと彦根との繋がりは深い。祖父の高木小一郎さんは山口県防府市の地主の長男に生まれたが、農業を継ぐのが嫌で教師となり、当時の彦根中学（現彦根高校）でも教鞭をとり教頭を務めたという。その関係で母の良子さんも3、4歳の頃、祖父母と一緒に郷ノ浦の「むか井旅館」で暮らしていたとのこと。また高樹さんの小説「波光きらめく果て」の舞台が彦根で、1986年に映画化され、そのロケの際

には福岡在住の高樹さん自身も何回か彦根を訪れた。そういう縁もあり「時間があるときは家族と一緒に彦根を訪ねて『むか井旅館』で新鮮な魚料理などいただいたが、特に『モズク』が好物でした」と懐かしく振り返られた。今も『小説伊勢物語業平』など数々の話題小説を著し、情熱は衰えを知らない。

同特集では「爽やかなる情熱へ電力王・松永安左エ門の生涯」の著者である水木楊さんにもインタビューし「いま求められる松永翁の自主独立の精神と先見性」と題し、松永安左エ門翁の功績等を語っていただいた。

彦根市発足後は市長を始め彦根市観光連盟や彦根市農協など彦根市の各機関トップ等に毎年、現状報告をお願いしている。彦根市発足記念として「一村一品運動」の元祖と言われた当時の平松守彦大分県知事の「地域づくりと特産品のあり方」について」のインタビュー記事は第32号で紹介。

その後は、彦根両高校の校長先生には毎年、中学4校の校長先生にも節目ごとに随時ご登場いただいている。

### 相川さんと古川さん

#### 二人の人柄に感懐

インタビューは状況に応じて紹介



『雪州会だより』第31号で紹介



筆者とのインタビューで談笑する相川さん（2014年9月）

してきた。三菱重工社長や長崎県人会長（東京）等を歴任した相川賢太郎さん。更に歴代2位となる8年7カ月にわたり内閣官房副長官を務め、小泉純一郎内閣など5人の総理大臣に仕えた古川貞二郎さんら。

余談だが、三菱重工の相川さんには東京・品川の本社に数回お尋ねした。いつも温厚で、時々の経済状況や壱岐の話に及んだ。その後、ご夫妻で壱岐に行かれて「壱岐は予想以上に歴史遺産の多い島だね」とのご感想。聞けば特に歴史には興味があるとのことだった。実に楽しい時間を過ごさせていただいた。

も1度は行ってみたいですね」と話されていたが……。第99回雪州会総会（平成28年）にも一度、ご出席いただいた。「こんなに大勢の人が集まるとは思ってもいなかった」と話された笑顔が浮かぶ。官僚の頂点を極めながら、謙虚なお人柄であった。その古川さん、今年9月5日、87歳で急逝された。訃報に接したのはこの拙稿を執筆している最中である。ご冥福をお祈りする。

また中国の辛亥革命をリードした親日家の孫文を財政的に支援した長崎の梅屋庄吉の妻・トクさん（勝本出身）の曾孫である日比谷松本楼社長の小坂文乃さん（壱岐市観光大使）等へのインタビューも紹介出来た。このほか、インタビューに応じていただいた多くの方々に感謝申し上げたい。

平成29年版の第45号は『雪州会創立100周年記念』特集として当時の中村法道県知事の祝意寄稿や「壱岐 偉人列伝」、雪州会歴代会長の寸描。そして立石公博第8代会長以降5人の雪州会長経験者による座談会等も企画した。

第46号からは雪州会創立100周年記念事業として新設した『雪州会賞』を壱岐両高校の最も優れた成績を残した生徒1人ずつ毎年表彰し、誌面で紹介。若人の夢はいつも新鮮



第99回雪州会総会で挨拶する古川さん

で、私達の心を刺激する。第47号では当時、長崎県人会長、同県人クラブ理事長を務める山内賢明（雪州会第10代会長）さんにもインタビューして両組織の運営等を紹介。

昨年の第49号ではNHK-BS放映の「こころ旅」で火野正平が壱岐を1周した様子を村上安弘（雪州会幹事長）さんが詳報し話題に。村上さんは同番組の編集にも携わる。

今回の50号記念誌では壱岐出身者として今年7月10日の参院選挙で、長崎県選挙区から80年振りの国会議員に当選した山本啓介参院議員にインタビュー。国政に臨む決意や我が国の安全保障問題、ふるさと振興策等を熱く語っていただいた。

**『我が友』『我が恩師』等  
多様な企画で話題共有**

多彩な企画では「我が友」「我が

恩師」「趣味あれこれ」「壱岐の思い出」「壱岐を旅して」「エッセー」等で誌面を盛り上げている。それぞれに仲間の話題が広がり、情報交流の効果も大きい。第48号（令和2年）では竹富鉄一（顧問）さんが「我が友」で世界的イラストレーター長岡秀星（実家は郷ノ浦町沼津）さんとの出会いやその後の交流を詳しく紹介していただいた。

今回も森谷名誉会長ら多くの皆さんにご寄稿いただき、多様な話題を提供。今後も多くの皆さんの参加を期待したい。

こうした中、雪州会の総会を始め東京渡良会、関東初山会、壱岐両高校の総会など各団体のイベントがこの3年間、コロナ禍で相次いで中止に追い込まれた。最も楽しい仲間が集まりがなく、誌面を飾れなくなっ



『雪州会だより』第48号で紹介  
左2人が長岡夫妻、右端が竹富さん

た。残念である。中でも毎年東京等で開催されている全日本綱引選手権に25回連続出場中の壱岐玄海酒造綱引チームの応援は〈春の風物詩〉として、雪州会や県人クラブ関係者約100人が応援に集まり「選手には大きな励みになる」(山内昭人社長)だけに、大会中止は、寂しい。

一方、企業や団体の方々には広告でも常に変わらないご協賛をいただいている。「雪州会だより」はこうした多くの皆様に支えられて歴史を刻んできた。改めて感謝と御礼を申し上げます。

山内賢明(雪州会特別顧問)さんは今回の創刊50号記念に当たって「今後も雪州会の充実、故郷の発展に資する『会報』となるよう一層研鑽を積んでほしい」と期待の言葉を寄せた。

今、私たちは「雪州会だより」創刊第50号記念の節目に当たり、先人の掲げた発刊の理念やご尽力を肝に銘じ、「皆さんのための会報」づくりに励む決意を新たにします。

〈『雪州会だより』創刊50号記念に寄せて〉

### 眞鍋儀十大伯父の思い出 帰省ではそうめん汁好む



雪州会だより第50号記念誌発刊誠にありがとうございます。また、東京壱

岐雪州会会員皆様方には、愛郷心の下ふるさと壱岐の振興発展に多大なるお力添え等賜っておりますことに対し、深く敬意と感謝を申し上げます。

この度、東京壱岐雪州会様より、雪州会だより第50号記念誌発刊に当たり、50年前の第1号発刊時の第3代眞鍋儀十会長が私の大伯父(祖父重雄の兄)とのことで寄稿の依頼をいただきました。

大伯父について、生前帰省された折、生家でくつろいでいるの思い出しますが、直接言葉を交わしたという記憶はありません。母からよく聞かされていたのは、帰郷の際は決まってそうめん汁を食べたいとリクエスト、炊いてあげると美味しそう

壱岐市副市長 眞鍋 陽晃

に食べていたそうです。カタケ(片貝)のだし汁で炊いた温かいそうめんです。また、母との会話は全て壱州弁だったということでした。

### 各種資料や松永翁の胸像等 今も箱崎の生家に保管

大伯父は明治24年9月に眞鍋家の二男として生を受け上京、大学生の時から普選運動に関わり、その後政治家として活動、昭和57年4月に亡くなりました。生前ふるさとの壱岐

への思い入れが深く、大正8年普選運動中の小泉又次郎代議士(小泉進次郎代議士の祖父)大竹寛一代議士3人と



『雪州会だより』創刊号と眞鍋さん(雪州会創立100周年記念第45号から)

の騎乗写真、国会や党大会、小田原市松永記念館落成祝賀会などの写真、自身の叙勲、自民党総裁表彰、松永安左エ門翁の97歳の胸像など多数を、眞鍋家督を継いだ弟で四男の重雄に託しました。祖父は生家に、兄儀十の表札を掛け大事に保管しておりました。現在もそのままの状況で管理しています。

私はこの度7月8日には鎌倉の大伯父の墓前に花を手向け、近況報告を行ったところですが、この度寄稿の依頼を受ける事になりましたのも大伯父が夢枕に立つてのお墓詣りだったのかなと思ひ、依頼に感謝しております。有り難うございます。

結びに、東京壱岐雪州会の今後益々のご発展と会員皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

〔雪州会だより〕創刊50号記念に寄せて〕

# 雪州会の先人の活躍に発奮 今は杻岐の未来に向け活動

東京杻岐雪州会 元副会長 吉野 弘一



私にとつて東京杻岐雪州会は、故郷杻岐から首都東京（関東）へ強い関心と挑戦心を持って向かい、苦難を乗り越えた杻岐人の集いの場。また、先人の活躍や生き様を思い、自分も頑張らなければと考えさせる場であった。

1970（昭和45）年長崎県高校教諭となったが、1995（平成7）年文部省に勤めることになり、22年間を東京で過ごすなか雪州会に出席するようになった。そこでは雪州会の意義を改めて感じ、機関誌「雪州会だより」を通じて仲間の状況や、杻岐の情報に接することができた。創刊50号をお祝いするとともに、関係の方々に感謝申し上げます。

**持続可能な「まちづくり」  
地域の課題解決に参加**

そして、東京での職業人生を終えて2017（平成29）年に帰郷。余暇を楽しんでいたが2019（平成31）年、杻岐市において「まちづくり協議会」が設置された。小学校単位の地域が一体となり、地域課題を住民が主体となり解決し持続可能な街にしていくという趣旨に賛同し、2021（令和3）年1月にスタートした「勝本浦まちづくり協議会」の会長を引き受けた。計画書の目標は、漁業の町から「漁業＋プラス観光の街へ」。東京杻岐雪州会の場で学んだことを思い出しながら、杻岐市が未来に向けて持続可能な島となるよう頑張っていきたい。

〔雪州会だより〕創刊50号記念に寄せて〕

# 50年50号の輝かしい快挙 圧巻は雪州会100周年記念号

東京杻岐雪州会 副会長 長嶋 文満



「雪州会だより」50号記念達成の快挙誠にありがとうございます。今年1回の発行で50号とは実に半世紀50年の歳月になります。先人の理念を受け継ぎ、この会誌の編集責任者を長年務めてこられた牧山名誉会長をはじめ会員やふる里関係者など皆さん一致協力の賜でしょう。

「雪州会だより」各号ではその時の状況にあったそれぞれの企画が組まれておりますし、会員の皆様の様々な趣味や活動が投稿により紹介されております。故郷「杻岐島」の情報や統計が満載でなかなか読みごたえのある「ふるさと会」誌です。

**「杻岐 偉人列伝」に感銘**

50号の中で私にとって特に圧巻だったのは「雪州会100周年記念号」の第45号です。代々の会長の実

績と人柄の紹介や会員をはじめとする関係各位の寄稿も素晴らしいものがありました。特に圧巻だったのは先人の気概と信念に学ぶ「杻岐 偉人伝」の企画でした。故郷杻岐が輩出したあまたの偉人には大きな感銘を受けました。これからも「雪州会だより」が杻岐出身者の皆様相互の情報交換の場になることを心より願っております。（関東初山会会長）



「雪州会100周年記念」誌（第45号）から

〈『雪州会だより』創刊50号記念に寄せて〉

感心しながら読む企画  
雪州会で「壱州巡り」を

東京壱岐雪州会 理事 馬場 喜代治



『雪州会だより』創刊50号記念、おめでとうございます。ひと口に50号と

言いますが、即ち50年間と言うことです。ロシア革命より古く創立され優に100年を超す雪州会で発行する機関誌です。

特に平成29年発行の『雪州会創立100周年記念』特集号は、各方面で活躍された大先輩の偉業と歴史、雪州会の運営内容等々、主に後輩の私達への道標となるものでした。その間、編集に携わられた方々に敬意を表します。

コロナ禍の感染対策によりここ3年、雪州会総会はもとより、春に開かれている全日本綱引選手権出場場の玄海酒造綱引チームの応援や、長崎ビードロ会のハタ揚げ大会参加、東京渡良会、関東初山会、壱岐両高校の同窓会の集会も中止となり寂しい限りであります。

コロナ禍の1日も早い収束を願ひ、もう一度雪州会主催で「壱州巡り」を行い、会員の方々と一緒に、壱岐へ元気を届けたり、貰ったりしたいものです。私は殆ど毎年帰省しますが、島の様子を見ると近代化への変化と過疎化とのギャップを著しく感じます。

会員の皆様の眼底に在る美しい壱岐の景色を元気づけに子や孫と一緒に再確認に帰郷をお勧めしたいと思っております。ふる里経済の一助に先ずは自分達から観光の島へ戻りましょう。しかしコロナ禍では、島民の皆様へ不安を与えるだけでしょうから、どうぞ、コロナ収束の後にお願ひ致します。

「雪州会だより」では「趣味あれこれ」や「我が友」等の頁も用意され、登山やギター、カラオケなど楽しい思い出話も掲載してあり、「ほーほー」と感心しながら読んでおります。私も少年期を重ねて望郷俳句を嗜んでいます。

\*—————\*

◎潮騒に揺れ合ふ百合の白にほふ

◎打ち寄せる波を貫く晩夏光

◎ふるさとの鳥かげ淡く夏見舞

〈『雪州会だより』創刊50号記念に寄せて〉

壱岐は一番住みよい島  
中古の家買ひ毎夏帰省

東京壱岐雪州会 元理事 柴崎 三佐子



12年前、壱岐の地元新聞に出ていた広告を見て中古の隠居家を購入しました

た。当初は年2〜3回、最近では毎年夏に10日間ほど帰省します。

4人の孫が丁度小学生でもあり、きれいな海を本当に喜んでくれました。高学年になっても「夏休みは壱岐が一番だよ!」と言っているようです。私はこれまで15以上の離島を観光しました。壱岐はインパクトのある観光資源は少ないと感じますが、福岡への近さ、島全体が丘陵地など生活者の視点では一番の島だと思っております。

雪州会だよりに触発され

「ローマ人の物語」読破

私は今、勝手な「お一人さま」暮らしです。それでも帰省中は草取りして読書して昼寝して開放感がいっぱいです。本も沢山持って帰ります。

「雪州会だより」第48号(令和2年版)に牧山康敏さんが『コロナ禍で本を再読して思うこと』で紹介されていた「ローマ人の物語」(塩野七生著・全17巻)に触発され、挑戦して全巻を読破しました。今に続く問題もその頃に根があったように思われ驚きます。

私は歴史関係が好きです。新型コロナが沈静化し、体力が許せばいつかローマを訪れてみたいと思います。これまでエジプトやリビア、ヨルダン、シリア、トルコなど約20カ国を観光し歴史探訪しています。

そんなことを考えながら陽が落ちた農道を歩きます。故郷では「○○ちゃん」と呼んでくれる人がいる! そういう人がいる限り帰りたい。もしかしら私にとって壱岐の家は一番の買ひ物だったかも、と思うのです。

(郷ノ浦町出身)

〈『雪州会だより』創刊50号記念に寄せて〉

雪州会で人生体験学ぶ  
情報も多様化の時代に

東京沓岐雪州会 会員 江田 康嗣



東京には  
大学進学を  
機に上京し  
て参りまし  
た。大学は  
横浜の鶴見  
にある曹洞

宗総本山の総持寺の中にあり、横浜  
の中では自然豊かな環境の中で6年  
間楽しい学生生活を過ごしてしまし  
た。

雪州会には父の誘いもあり大学入  
学以来参加させていただいておりま  
す。沓岐の大先輩方が多数いらっ  
しゃる会で、多くの懐かしいお話や  
私の知らなかった町内の昔ばなしを  
たくさん聞かせて頂きました。お知  
り合いになる中で多くの人生経験を  
踏んで来られた先輩方にプライベート  
トな相談もさせていただくこともあ  
りました。

こういった部分では沓岐の同級生  
には相談しづらい事も相談でき、人  
生を歩んで行く中で大変プラスとな  
っております。友人とは学生時代  
には年に数回は会っております

が、社会人になり回数が減り、家庭  
を持つようになり更に減るようにな  
りました。数限られた中で沓岐の旧  
友と話すことは大学の同期と違い心  
の癒しにもなっていたと思います。

今回『雪州会だより』創刊50号記  
念、おめでとうございます。私たち  
にとつても会員の皆さんや故郷の情  
報が紹介されており、心強く感じま  
す。創刊50号ということで今までこ  
の会報の編集や雪州会の運営に携  
わってこられた先輩方に感謝してお  
ります。

近年SNSの発達や新型コロナウイルスの  
流行で人との交流の形が多様化して  
おります。本会も若者の参加者が  
減っていることが寂しいところもあ  
りますが、これからも是非雪州会と  
『雪州会だより』が長く続くことを  
願っております。  
(石田町出身)

〈『雪州会だより』創刊50号記念に寄せて〉

「会報」開けばそこに沓岐  
皆さんの寄稿や広告懐かし

東京沓岐雪州会 会員 立石 和子



この度は  
雪州会だよ  
り創刊50号  
の発刊にあ  
たり心より  
お祝い申し  
上げます。

新型コロナウイルスの影響で各種  
会合の開催が困難な状況が続く、故  
郷に触れられ、沓州人に戻れる雪州  
会の定時総会が、今年も中止になっ  
てしまいました。

しかしながら雪州会だよりを開く  
とそこは沓岐です。沓岐市長・沓岐  
市観光連盟・商工会・一支国博物館・  
農業・漁協組合等からの報告。皆さ  
ん雪州会でお会いする方々。

多種多彩でイキイキとした寄稿に  
沓岐の現在から未来、懐かしいあの  
時まで、自身の思い出を重ね仮想ト  
ラベル。沓岐で農作物を作ったり魚  
釣ったり、特産品を注文したり、は  
たまた自作で名産を作成できないか  
と考えを巡らせ、沓岐の空き家も検  
索してまいります。

俳句や写真で活躍される先輩方、

歴史にプリに沓岐の写真。子供の頃  
から知っているお店の広告。もうワ  
クワク感が止まりません。  
**火野正平の沓岐心旅**  
**職場では沓岐ブーム**

私の職場では火野正平「につぼん  
縦断こころ旅」の放送を見た方々  
が、沓岐をネットで検索し猿岩や辰  
の島の海に浮いている船の写真を目  
を見開き、朝市の風景と鬼風や焼酎  
といった歴史に驚愕しプチ沓岐ブ  
ームが起っています。

小さな紙に清石浜「何て読む？」  
と聞かれ、答える前に「くよしはま。  
だよ。まあ、勝本じゃないからな。」  
と私の出身の町名まで知れていま  
す。すでに私より沓岐の地図が頭に  
入り現在の沓岐情報にも詳しい。

毎号楽しく拝見する雪州会だよ  
り。原稿を集めて構成編集して発刊  
されるまでには大変なご苦労がある  
と推察されます。大ファンの愛読者  
としては、この50号から100号1  
50号へと沓岐出身の幅広いネット  
ワークの結集で情報豊かな雪州会だ  
よりが発刊され続ける事を願ってや  
みません。  
(勝本町出身)

〈我が恩師〉 武生水中学の駅伝部顧問

（松尾久・林昭・久保脩先生）

## 中学生の心理つかんだ指導法 長崎県駅伝大会に出場権利も

東京老岐雪州会 監事 白石 光男



令和元年  
に還暦を迎え、老岐開催の還暦祭に出席し、中学校、高校の恩師の

先生や同級生と何十年ぶりかで再会することができました。

さて、雪州会の会報誌の初回号が発行された頃は、私は老岐の武生水（むしようず）中学校の生徒で、駅伝部の選手の一でした。今も毎年、駅伝大会が開催されていますが、老岐郡内の中学校対抗駅伝大会がありました。そして、郡内の駅伝大会の優勝・準優勝の駅伝部は、長崎県諫早で開催される県下中学校対抗駅伝大会に出場することができました。

駅伝部の顧問の先生は、3年生のクラス担任で、体育の松尾久先生、数学の林昭先生（3年生のときの担任の先生）、国語の久保脩先生でし

た。坂井寛昌先生にも練習の移動などでお世話になりました。他にもお世話になった先生もいらっしやっと思えます。

駅伝部のメンバーは、郡内の中学校対抗駅伝大会の優勝をめざして練習をしました。駅伝の練習は、武生水中学校の運動場や、主に柳田小学校の前を通り勝本に向かう道路で行いました。

### ストップウォッチを操作 早めにストップ押して

私も含めた駅伝部のメンバーのほとんどが、練習をしてもなかなかタイムがよくならず、意気もあがらない状態が続きました。ある日の道路での練習のとき、それまでの練習のときのタイムより、目標タイムにだいぶ近づいたと顧問の先生（松尾先生だったと思います）が嬉しそうにストップウォッチを見せてくれました。それから、チームが活気づき、タイムも順調に伸びていったと記憶

しています。

タイムが順調に伸びだしたところ、顧問の先生が、この前、タイムがよくなったのは、ストップウォッチを早めにストップしたのを教えてくれました。練習が中だるみのようだから、やる気を出させるために、あえてそうしたのだと聞いたことを記憶しています。中学生の心理をつかんだ指導方法の一つだったのでしよう。

1974年（昭和49年）の郡内の駅伝大会のコースは、芦辺町の水田地帯の周回道路で、天候は曇り空、応援は各中学の3年生だったと記憶しています。同級生らの応援で、武生水中学校の駅伝部は準優勝を勝ち取ることができました。優勝は勝本中学校でした。1975年（昭和50年）の武生水中学校の卒業アルバムでは同タイム準優勝と記録されています。両校のアンカー同士の激戦になった記憶がよみがえりました。

### 今は1日8千歩を目指す 月1回皇居1周ウォーキング

1974年（昭和49年）の県下中学校対抗駅伝大会には、松尾先生の引率で諫早に向かいました。小雨の中の大会でしたが、武生水中学校の各走者は健闘して走ることができました。勝本中学校は準優勝か上位の

入賞だったと思います。50年前の恩師のご指導と共に思い出される郡内・県下の中学校対抗駅伝大会です。

最近では走らないのですが、一日、8000歩をめざして、健康増進に励んでいます。また、還暦を記念して、日比谷公園や皇居周辺を月に1回を目標に、皇居1周ランニングをする人たちを見ながら（皇居周辺のランニングコースは1周約5kmです）、中学生の頃はそれなりに走れたのにな、と思ったりしながら、ウォーキングしています。日比谷公園内の松本楼さんでは老岐の食材の料理や焼酎も楽しめます。コロナ下ではありますが、東京老岐雪州会の会員の皆様も、東京の下真ん中で、いきいき（老岐老岐）ウォーキングはいかがでしょう。

（弁理士 老岐高東京同窓会長）



松尾久先生は、写真の、後列左端、久保先生は、写真の、後列右端、林先生は、写真の、前列右端です。前列左から3人目が白石さん

「壹岐の思い出」箱崎江角触の「和合の浜」

夏には思い出す「小さな浜」  
アワビ・タコなど採り放題

東京壹岐雪州会 監事 立石 義昭



夏が来る  
と、近所の  
仲間におに  
ぎりを3個  
もって、朝  
から晩まで  
海で遊んだ

思い出が浮かんできます。家から裏山を越えて、海が見えると道なき道をひたすら下る。ここに泳げる浜があるのだろうか、という感じですよ。

海までの道中は大変でしたが「それもまた楽し」で子供の頃はスタスタと歩き、途中ではクワガタやカブト虫を採ったりして通っていたような気がします。いつの間にか海に到着、そこは小さな砂浜のある「和合の浜」です。和合の浜は壹岐島北部の勝本・天ヶ原と箱崎・赤瀬鼻の間地点にあります。

そこは、アワビやサザエやトコボシ、タコや魚など採り放題に食べ放題。オコゼもいたので足の裏をチクリと刺されたりと危険もつきものですが、ひたすら遊んでいた思い出

があります。海岸で火をおこし、自分たちで採ったアワビやサザエ、タコなどを煮焼きしながらおにぎりを食べるのが楽しみでした。

色々なワクワク体験

「壹岐の海」に感謝

ある時、海岸に集まってくる廃材でイカダをつくり、いざ冒険に出発。思いとは裏腹に海では浮かばず進まず、数メートルで沈没！何度も挑戦しましたが結局妄想で終わったような気がします(笑)!!この原稿を書きながら、和合の海での体験(遊び)は、とても貴重だったんだと感じます。大人になって妄想を忘れ、日々の仕事に追われ、ワクワクする気持ちもなくされ、アワビやトコボシは高級食材になり、クワガタやカブト虫はお店で販売、自然のなかで見たり採ったりという行為ができなくなり、すべてお金で買う時代に!?今思えば「和合の浜」で最高の贅沢をさせてもらいました。

こんな経験をさせてもらえた「故

岬



和合の浜



写真はいずれも村上安弘さん撮影

郷・壹岐の海」に感謝です。僕もいよいよ50代も仕上げに入り、いざ60代へ！新しい時代もすぐそこに来ていると思っています。これからも「直感」と「ワクワク感」を大切に頑張ります！「夏休み」という言葉を忘れそうになっていた！あゝ、久しぶりに「和合の浜」で泳いでみようかなー！和合の浜でバーベキューしながら「壹岐焼酎で乾杯」!!ワクワクする(笑)

(アサヒ企画代表取締役)

サボテンの花咲く！  
今年は14輪の深紅

ベランダのサボテンの花が今年6月、一挙に14輪咲いた。一昨年には8輪咲いたが、何故か昨年はゼロ。そして今年は根元の子サボテンからも3輪(2年前は1輪)加わり14輪に。満開時間も前は1日で萎んだが、今年2日間、深紅の花を

楽しませてくれた。

胴体も大きくなり、背丈は2年間で約10センチ伸びて30センチに。子サボテンも4個に増えた。植木鉢が狭くなり、「小競り合い」状態。大きい鉢に取り替え準備中。来年も咲いてくれよ、と願いつつ。無粋男の僅かな息抜きと言うべきか。

(牧山康敏)



## 壱岐の思い出とシャンソン 小学生の頃は母の里帰りで壱岐で遊ぶ

元壱岐市観光キャンペーンレディ 三苦 直美



東京壱岐  
雪州会の  
皆々様、い  
つも温かく  
親しく接し  
ていただき  
まして感謝

の気持ちでいっぱいです。私の母は壱岐の出身です。里帰り出産ではありませんが、私は郷ノ浦町の品川病院で生まれました。祖父母は郷ノ浦町片原触に住んでいました。祖父母の家と私の福岡の実家には、祖父が作った鬼凧が飾ってあり、私も鬼凧の描かれた紙に塗り絵をして遊んでいました。

小学生の夏休みは母の里帰りに必ず連れて行って貰って、筒城浜か大浜に海水浴に行きました。炎天下のビーチで潮風にあたり食べた、祖母が作ってくれた雲丹ごはんのおにぎりの味は最高で忘れられません。郷ノ浦町の夏祭りでは何度かカラオケを披露したことがあるようで写真が残っていますが、何を唄ったのかも思い出せません。でも、大音

量のドラえもん盆踊り音頭や祭りの風景は覚えています。

2006年に母の勧めで壱岐市のキャンペーンレディになりました。母は案内所の観光ガイドのような仕事内容を想像していたようでしたが、主に式典のアテンダントをする仕事でした。観光産学科で学び卒業した事もあり観光についてはかなり興味を持ってました。印象に残っている仕事は、壱岐に寄港した豪華客船「ぱしふいっくびいなす」や「飛鳥II」等のおもてなしイベントの際



壱岐市観光キャンペーンレディ

には当時80代の祖父母が応援に来てくれて嬉しく私もとびきりの笑顔でもてなしました。また、育った福岡や広島に出張に行っては歴史や平和について考えました。

### シャンソンとの出会い

#### 美輪明宏さんの著書

今も人前で歌うことに携わっていて、小さい頃からの歌好きは変わっていません。シャンソンとの出会いは、美輪明宏さんの著書だったと思います。読んだ当初はピンと来ませんでした。シャンソンの文化や夜な夜な歌を唄っている方が居ると知り、目指したいと思うようになりました。シャンソンには戦争体験をストレートに唄った歌も多く、今年



シャンソンを歌う三苦さん

詞と同じような事をインタビューで言っている映像が多く、なぜ歴史に学ばないのか悲しく思います。コロナ禍になり、いくつか唄うイベントも中止になりましたが、現在は2ヶ月おきに新宿のKuwawというシャンソニエにて唄っています。10月18日の夜にも出演。今後も、シャンソンを通して人びとを少しでも元気にさせたいと思います。壱岐雪州会の皆々様にもシャンソンを聴いて明日もがんばろうと思っただけましたら本望です。また浅草で紙芝居を読んだりもします。雪州会の方々の壱岐を想う気持ちは見習うべき点が多々あり、私もこれらの人生において大切にしていきたいと常に考えています。





〈我が青春の追憶〉

（H坊・Mちん・ヤス坊の3人仲間）  
リヤカーで天幕を運んだ夏

東京壹岐雪州会 幹事長 村上 安弘



僕たち3人はあの日、暗闇の中で月が出るのを待っていた。遠くで雷の音が聞こえたと思ったら雨の音が強くなっていった。

水曜日の夜8時、僕はテレビの前に座っていた。この時はできるだけ家族がいない方がよかった。テレビから聞こえてくる「女将さん時間ですよー！」と叫ぶ声を待っていた。元祖アイドル天地真理の歌声も聞けたが、何より期待したのは銭湯の女湯のシーンだった。僕は中学3年生で人生初の選択をしなければならぬ時期だった。

ほとんどの同級生は地元の高校へ進学を決めていた。中には長崎市内の高校へ、福岡県の私立高校へ、進学しない友人も就職先の事など自分の将来について考えていたと思う。僕は高校へ進学する意味もわから

ず、就職先も決められず、将来のことなんて決められるわけないだろうと不安だらけの日々だった。一度、担任の先生に勧められ、車関係の工場で働きながら学べる会社の試験を受けたことがあったが合格したのかさえ覚えていない。地元の高校へ進学するにも入学試験を受けなければならぬのだ。自信はゼロ、試験勉強なんて考えたこともなかった。

3人で集会用の天幕借用

そんな1971年の夏、僕たち3人は、郷ノ浦の「なきりごうら」から「滝の上」への上り坂をリヤカーを引いて登っていた。かなりの急坂だ。周りからはシャブ、シャブ、シャブとクマゼミの鳴く音が森全体を覆っていた。僕たちが歩く幅の狭い道はデコボコの土で、所々に砂利が敷いてあった。リヤカーに積んでいたのは公民館から借用した集会用のテントだ。このテントは木の棒を立てて使用するのだが、この時はキャンプのためにと天幕だけを借りた。



先端が細崎

しかも、帆布で作られたテントには片原中部公民館の名前が入り、大層重かった。

他には鍋、釜、米、野菜などの食料に、明かりをとる懐中電灯と寝るための毛布などを積んでいた。1人がリヤカーを引き2人が後ろを押す。ここを登り切ると僕たちの住む片原中部から片原南部という地域に入った。右側には海が広がり、その向こうには渡良半島が見えた。青い空に大きな入道雲が出ていた。

僕たちとは幼なじみの3人。H坊、Mちん、そして、僕。僕はヤス坊と呼ばれていた。3人の関係は親友かと言われればそうじゃなかったと思う。3人は学校では特別に口を聞い



右手に渡良と大島が見えた

たことはなかったが、学校から帰ると弁天崎入り口にあった湯川（長田商店）と片原中部公民館の前の道路が集まった。そこから弁天荘の看板があった約50メートルの砂利道が地域の子供達たちの遊び場だ。いつも小学1年から中学3年までの子ども達が自然と集まって来た。小学生低学年のグループと小学生高学年から中学生のグループに分かれて遊んだ。遊びはかくれんぼやドロケイ、カン蹴り、トッターバッテリーなどだった。夏休みに入ると近くの弁天崎で泳いだ。たまにはウリ（マクワウリ）を畑から内緒で拝借し、時にそれはスイカだったりした。そして、一日中泳いでいた。でも、キャンプなんて

したことはなかった。外でご飯を食べるのは、春の花チラシの時だけだった。節句磯になると各家庭からお重に詰めたご馳走を持ち寄り部落みんなで弁天崎で食べた。その頃はバーベキューなんて想像できなかったし、外で寝るなんてとてもじゃないが怖くてできないと思っていた。

リヤカーを引っ張る僕たちは片原南部を過ぎ坪触に入った。道は平坦になったが雨が降れば所々に水たまりができそうな道だった。時々雑木の間からキラキラ光る海が見えた。そうしているうちに「まんじゅう島」の松の木が見えてきた。ここまで来れば目的地の「細崎」はもうすぐだ。松林の間から天然の芝生と青い海が



まんじゅう島

見えた。ここには地域の海水浴で何回か来たことがあったので土地勘は少しあった。牛が放牧されていた海岸近くには芝生が広がり、海からはある程度の高さがあるので、テントを張るには絶好の場所だと思われた。僕たちはリヤカーを置いたら、荷ほどきはそっちのけで海に向かった。

**途中で海に潜りウニ等  
夕食の材料に採り放題**

海へと続く岩は太陽にしっかりと焼かれ、裸足の僕たちは小躍りしながら大きな岩を下った。そして、手には水中メガネとウニカギ（磯ガネ）を持ち、海へ飛び込んだ。自分の吐



細崎入り口

く泡の向こうに、大きなシルエットがゆらゆら揺れながら飛び込んできた。それは海面に向かって伸びる大きなカジメだった。よく見るとカジメにはサザエが付いていた。その森のような海藻の中を色とりどりのクサビ（ベラ）が泳いでいく。タイなどの大型の魚も悠々と泳いでいた。30分もしないうちにサザエ、トコブシ、ウニなどその日食べる分は採れた。

この海は冷たく、潜っていると海水で冷えた体は震え唇は紫色になった。その冷えた体を海岸の岩に寝転び温めた。太陽に照り付けられた岩は体から冷気をとってくれた。その後は大きな岩から飛び込んで遊んだ。海からそよぐ風が体を包み、松林へ抜けていった。普通ならばここで自宅へと帰るのだが、今回はここから本番だった。今日の寝床を確保しなければならぬ。テントを立てる場所を決める。しかし、集会用のテントをどうやって立てたのか。木の枝を探し、テントの中に立て、外からロープで引っ張ったのか？松の枝に括ったのか？いつものように3人で知恵を出し合ったんだろうけど覚えていない。

テントの下にはグラウンドシートなんて洒落たものはなかったの、ゴザをしいた。寝床が完成すれば次は夕食作りだ。石を集めて組み、ご飯

を炊くためのクド（竈）を作る。火を起こすのはみんな得意だった。この頃の家風呂はどこでも薪で炊いていた。我が家は五右衛門風呂で小学校から高校まで僕が薪で風呂を沸かしていた。しかし、僕にはご飯を炊いた経験はなかった。多分、H坊かMちゃんが炊いてくれたと思う。メニューは西城秀樹がCMをしていたハウスバーモンドカレーだったと思う。僕たちに作れるとしたらそれくらいしかなかった。とにかく、夕闇がせまる頃、カレーが完成して食べた。その時に何を話していたのか覚えていない。きつと話すことは山ほどあったに違いない。中学卒業後の将来への不安、気になる女子の事とか、でもそんなことより、3人の話はきつと、この場所はサザエが多いよねとか、でかいアワビがいたんだけど採れなかったとか海の話だっと思う。テントを張った周りには外灯はなく、人工物は一切見えなかった。暗闇に響く虫の声を波が岩にぶつかるザワーという音が消していく。その音が小さくなるとまた虫の鳴く声が広がった。その時、期待していた満天の星空は見えなかった。僕たちは早く寝ようとテントに入ったが、頼りないテントは心細く眠れなかった。

## 突然の雷雨襲来で民家に物置の軒下で主人から声

突然、テントに雨粒がぶつかる音が聞こえてきた。雨音は次第に大きくなっていった。雨水が芝を伝わりテントの中に入って来た。3人はお互いの顔を見回したが、同じような不安な顔だった。その瞬間、外が光った。しばらくして、雷が鳴り響いた。僕たちはとりあえず走った。近くに民家があることは知っていた。本降りの雨の中を濡れながら民家へと急いだ。

しかし、民家の人に声をかける勇氣はなかった。3人は濡れた体を黙って物置の軒下へと押し入れた。何とか雨は凌げたがこれからのこと



テントを張った場所は草におおわれていた



体を温めた岩

を考えると不安が先に立った。しばらくすると民家の主人が僕たちの心配に気がついたのか、声をかけて来た。「どうしたと?どこから来たへと引き入れてくれた。この家の人が電話を入れてくれたのか、しばらくして、僕の親父が車で迎えに来てくれた。翌日、リヤカーとキャンプ道具を取りに行ったはずだがそのあたりの記憶は一切ない。その後、この話題を3人が話した記憶もない。

## その後3人は夫々の道へ 当時の高揚感今も心に

その後、日坊は地元の高校から大進学し壱岐の小学校の先生となり、定年を校長で終えた。現在は公

民館長など地域活動に多忙な毎日だそう。Mちゃんは中学卒業後、腕利きの鉄筋屋となり壱岐でたくさん建築に関わったが、50歳を待たずに亡くなった。僕は訳あって東京まで流れて行き、いまだに映像制作に携わっている。今回、このキャンプの体験を確認するために、日坊に連絡を取った。翌日、待ち合わせの喫茶店に行く。日坊は先に来ていて、一枚の紙を差し出した。A4の紙にはこの時のことが多少の想像も加えて詳しく書かれていた。

2人はこの時の思い出を初めて話した。48年ぶりにお互いの中に残っている記憶をすり合わせていった。日坊はこの時のワクワク感や高揚感は今もなお心に残っていると話し、苦しい思い出はあるものの忘れられない貴重な体験だと語った。僕の中でもあの大雨の中、ずぶ濡れになり



細崎より平戸方面を見る

民家の軒下に走り込み、体を寄せ合った体験はずっと強烈に印象に残っていた。

この夏の終わりに家から細崎まで歩いてみた。聞こえてくるクマゼミの鳴き声にはツクツクボウシの鳴き声が混じっていた。「なきり(ごうら)からの上り坂は道路の幅も広くなり舗装されていたが、急な坂道に変わりはなかった。道脇に建つ家も増えている。それでも右方向には渡良半島と三島が眩しい海の光の中に覗いていた。まんじゅう島は何だか小さくなったように見えた。細崎への入り口を一度、通り過ぎてしまった。

それほど草木が生い茂っていた。僕たちがテントを張った芝生は葛の葉に覆われてしまっていた。海へ近づくと見覚えのある景色が飛び込んできた。海岸の大きな岩と真っ青な海は当時のままで。冷えた体を温めた岩肌もそこにあった。そこにしばらく座って、波の音を聞いた。静かな波音だった。しかし、どうしてあの夏3人で細崎までキャンプに行ったのか?最初に誰が言い出したのか?思い出せなかった。今度は、日坊と酒でも飲みながらゆっくり思い出してみることにする。良い夜のツマミになる話のできたので長い夜になりそうだ。できるなら天国のMちゃんにもリモートで参加してもらえたらいいと思う。

### 会長退任のご挨拶

## 歴史と伝統を誇りに 繋げ未来へ ——コロナ禍の中で無念——

東京沓岐雪州会 名誉会長 久原 順一



私は、このたび雪州会創立105周年および「雪州会だより」創刊第50号発行の節目をもって会則により会長を退任することになりました。

顧みますと平成29年10月29日は節目の創立100周年を迎え中村長崎県知事のご出席を賜り記念すべき歴史を刻むことができました。その後、万谷正会長のもとを受け会長に就任いたしました。しかしながら2年間は通常の活動ができましたが、令和2年2月からは新型コロナウイルス感染症拡大により3年間は一部の活動を除き余儀なく中止となり、会長としての職務を十分に果たすことができず、誠に心のこりでありま

す。これまで永きに亘り副幹事長・幹事長・副会長・会長として職務を務めることができましたのも、ふるさと沓岐市をはじめ各地区沓岐の会・長崎県下の各団体等および当会役員・会員の皆様方の温かいお力添えによるもので、深く感謝を申し上げます。次期後任にバトンタッチをいたしましたので、今後とも当会の限りない発展のため、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに皆様のご健康とご活躍を祈念いたしまして、退任のご挨拶に代えさせていただきます。

### 雪州会など各総会中止 3年連続の異常事態に

東京沓岐雪州会を始め東京渡良会、関東初山会などは令和4年度もコロナ感染の収束が見込めないためいずれも定時総会を中止した。このほか沓岐高東京同窓会、沓岐商高関東同窓会の総会も中止となった。これにより令和2年度以降3年連続の中止に追い込まれるなど異例の事態となった。

### 雪州会 役員改選

## 新会長に長峰隆徳氏選任 新幹事長は村上安弘氏

東京沓岐雪州会は10月開催の理事會（書面開催）において、任期満了に伴い久原順一会長が退任し、新会長に長峰隆徳副会長兼幹事長を選任した。副会長には新たに長嶋文満監事、新幹事長には村上安弘副幹事長がそれぞれ昇格。更に新幹事に平田

### 玄海酒造の社史

## 「120年のあゆみ」刊行

玄海酒造は今年7月、社史『むぎ焼酎沓岐 120年のあゆみ』を刊行した。同社は1900（明治33）年の創立で、2020（令和2）年に創業120周年を迎えたのを機に「120周年記念祝賀会」を予定していたが、コロナ禍の影響で開催を見送り、社史編纂も2年遅れて今年にずれ込んだ。

今回の社史はA4判（156頁）の全面カラー印刷で1300部を刊行し、取引先など関係者に配布。内容は歴代代表者の紹介はもちろん、全社員（50数人）を対象に「社員の声」を一人ひとり写真入りで掲載し「全

輝久理事が就任。また新理事として角田貴美子、徳成昌子の両氏を選任。久原会長は名誉会長に就任。任期はいずれも2年（再任可）。（長峰隆徳）＝33頁に2023年度の役員一覧表を掲載

社一丸」の姿勢を鮮明にした形だ。

山内賢明会長（第5代社長）は、社史発刊に当たり、長年の関係者の支援に感謝し「激動の時代にあつて日々挑戦の精神を忘れず精進し続けていきたい」との決意を述べている。また山内昭人社長（第6代）は「品質第一を守り、私たちは既に次の100年、200年を築く歩みを進めている」と長期視点を踏まえた経営方針を示した。（牧山 康敏）



## 2023年度 東京壺岐雪州会 役員一覧

<p>[執行役員]</p> <p>*会 長 長峰 隆徳(石田町)</p> <p>副会長(会計) 長田 玲子(郷ノ浦町)</p> <p>同 下条 司(勝本町)</p> <p>* 同 長嶋 文満(郷ノ浦町)</p> <p>会 計 副島 清(郷ノ浦町)</p> <p>*幹 事 長 村上 安弘(郷ノ浦町)</p> <p>*監 事 白石 光男(郷ノ浦町)</p> <p>同 立石 義昭(芦辺町)</p> <p>幹 事 後藤 圭司(芦辺町)</p> <p>* 同 平田 輝久(石田町)</p> <p style="text-align: center;">(以上 執行役員)</p> <p>*印は新任</p>	<p>特 別 顧 問 立石 公博(郷ノ浦町)</p> <p>同 森谷 正規(石田町)</p> <p>* 同 山内 賢明(郷ノ浦町)</p> <p>名 誉 会 長 牧山 康敏(芦辺町)</p> <p>同 万谷 正(芦辺町)</p> <p>* 同 久原 順一(郷ノ浦町)</p> <p>顧 問 大杉 一雄(郷ノ浦町)</p> <p>同 竹富 鉄一(郷ノ浦町)</p> <p>同 蔵方 肇(郷ノ浦町)</p> <p>同 山口 永人(石田町)</p> <p>同 前田 太郎(郷ノ浦町)</p> <p>同 山本 紘子(郷ノ浦町)</p> <p>同 坂井 伸州(郷ノ浦町)</p> <p>* 同 山田 義則(芦辺町)</p>
---	--

<p>[理事](50音順)</p> <p>浅井 恵子(芦辺町)</p> <p>市山 恵一(郷ノ浦町)</p> <p>岩崎 和弘(郷ノ浦町)</p> <p>浦富 文夫(勝本町)</p> <p>大久保寿雄(郷ノ浦町)</p> <p>大久保文人(勝本町)</p> <p>大久保正孝(芦辺町)</p> <p>岡田 孝敏(勝本町)</p> <p>神田 仁(勝本町)</p> <p>京崎 昇(芦辺町)</p> <p>清川 繁武(芦辺町)</p> <p>桑田三智雄(芦辺町)</p> <p>齊藤 宗範(石田町)</p> <p>篠崎 方哉(芦辺町)</p> <p>下條 昭二(勝本町)</p> <p>住田 琢彌(芦辺町)</p>	<p>高田 英志(郷ノ浦町)</p> <p>竹下 正興(芦辺町)</p> <p>田中 忠義(郷ノ浦町)</p> <p>*角田 貴美子(石田町)</p> <p>寺田 政輝(芦辺町)</p> <p>*徳成 昌子(石田町)</p> <p>豊永 正臣(郷ノ浦町)</p> <p>長嶋 一雄(郷ノ浦町)</p> <p>永本 繁(芦辺町)</p> <p>野本 一夫(芦辺町)</p> <p>野本政次郎(芦辺町)</p> <p>野元 宗敏(郷ノ浦町)</p> <p>橋本 孝次(芦辺町)</p> <p>畑津 邦裕(郷ノ浦町)</p> <p>馬場喜代治(郷ノ浦町)</p> <p>日高 克也(郷ノ浦町)</p> <p>平岡 仁江(芦辺町)</p>	<p>堀江 輝男(石田町)</p> <p>前田 茂喜(芦辺町)</p> <p>松尾 隆廣(石田町)</p> <p>宮坂 忠孝(芦辺町)</p> <p>深山 祐助(勝本町)</p> <p>村井 有(勝本町)</p> <p>森山 実(芦辺町)</p> <p>山内 博達(東京都)</p> <p>山口 義行(郷ノ浦町)</p> <p>横山 登(郷ノ浦町)</p> <p>横山 致和(郷ノ浦町)</p> <p>米光 信博(郷ノ浦町)</p> <p style="text-align: right;">(歴代会長は34頁参照)</p>
--	---	---

〈東京壱岐雪州会〉の来歴

創立105周年『雪州会だより』創刊50号記念

東京壱岐雪州会は長崎県壱岐市出身者の首都圏における親睦団体です。1917年(大正6年)創立で今年105周年。毎年秋に定時総会・懇親会を開催(この3年はコロナ禍で中止)。昭和48年以降は毎年「雪州会だより」を発行して今年に創刊50号記念で会員同士や故郷との絆を強め親睦を深める。

最初は雪州会としてスタート。その後、東京雪州会に変更し長く親しまれてきました。

しかし東京雪州会の活動も年々、幅広く盛んになり、この名称では壱岐出身者の親睦団体であることが外部には十分に浸透しづらい。そこで、2012年の創立95周年を機に「東京壱岐雪州会」に変更し、名称に「壱岐」を入れて積極的に壱岐をアピールすることにしました。同時に伝統ある「雪州会」の名称は残しました。

壱岐の島は古事記の時代から「大八州」(おおよしま)の一つに数えられ、更に日本書紀では「壱岐の州」または「壱岐の島」と表記し、いずれも「ゆきのしま」と読まれているそうです。雪州会の名称は多くの古書による読み方や解釈に由来し、歴史的にも由緒ある名称で、伝統ある親睦団体と言えます。

歴代会長 初代三富道臣(郷ノ浦町渡良)、2代松永安左工門(終身 石田町印通寺)、3代眞鍋儀十(芦辺町箱崎)、4代白川応則(勝本町鯨伏)、5代長岡元(郷ノ浦町沼津)、6代松坂直美(芦辺町深江)、7代後藤園丸(芦辺町瀬戸浦)、8代立石公博(郷ノ浦町志原)、9代森谷正規(石田町印通寺)、10代山内賢明(郷ノ浦町志原)、11代牧山康敏(芦辺町箱崎)、12代万谷正(芦辺町芦辺浦)、13代久原順一(郷ノ浦町沼津)、14代長峰隆徳(現職 石田町印通寺)

◆「雪州会だより」第50号をお届けします。

戦争と平和と黒澤明と仲代達矢

「人間の欲望がある限り戦争は終わらないだろう。だが、相手のことを考えれば戦争など出来ないだろうに」映画監督の黒澤明はこうつぶやいたという。今年8月12日、俳優の仲代達矢さんが日本記者クラブの会見で紹介した。そして「戦争は反対。平和を守らなければ」と、言葉をかみしめた。私もクラブ会員としてオンラインで参加。

仲代さんは今年12月で満90歳になる。苦しかった戦中戦後を体験した数少ない俳優だ。19歳で俳優の門を叩いて役者人生70周年の記念公演を前に会見に応じた。ウクライナに侵攻し核を脅しに使う独裁国家ロシア。アジアの海を我がもの顔で波立たせる専制覇権主義の中国。

この黒澤・仲代二人の言葉を何と聞く。

『雪州会だより』創刊第50号記念誌をお届けします。多くの皆様のご協力で50年の歴史を刻んだ機関誌。今号にも珠玉の原稿を多く寄せていただいた。広告にご協賛いただいた方々にも併せて厚く御礼申し上げます。

皆さんに励まされ、時にはおだてられながら、「だより」編集担当の歳月は過ぎた。

どれだけ満足いただける会報をお届け出来たか、自信はない。平和を信じ、お互いの再会を楽しみに、日々「強い気持」で過ごしたいものです。古代ローマの哲人セネカは言っています「人は生きていくかぎり、いかに生きべきかを学びつづけなければなりません」

(牧山康敏)



いきのしま



# 壱岐島の食材で 日本の食卓を元気に!

旬の食料  
特産品を  
お届け!

長崎県壱岐の島の食をお届けする通販カタログ

## 壱岐なお取り寄せ



全国配送料・代引手数料無料!

壱岐市ふるさと商社は、壱岐島の「食」をお届けする小さな島の商社です。実りの島とも言われ、食資源に恵まれた壱岐の食材を日本中に広げ、壱岐の食で、みなさんに元気と笑顔をお届けしたいと願っております。



一般社団法人 **壱岐市ふるさと商社**

TEL.0920-48-2501 平日(9:00~17:00)

〒811-5463 長崎県壱岐市芦辺町箱崎中山舩2575-22 芦辺港フェリーターミナルビル2F  
[webサイト] <https://ikicorp.jp>

医療法人社団 生寿会

## てらだファミリークリニック

理事長 寺田 寛

〒321-0132 栃木県宇都宮市雀の宮5-5-1  
TEL/FAX ; 028-654-2188  
<https://terada-family-clinic.jp/>  
info@terada-family-clinic.jp

## 総合ビルメンテナンス業

特殊セラミックの断熱塗料剤「ガイナ」

〒144-0031  
東京都大田区東蒲田二丁目6番16号

## 株式会社クラカタ商事

代表取締役 高見 仁也

URL : <http://www.kurakata.co.jp>

## 『農と食の未来をつなぐ』

## JA 壱岐市農業協同組合

代表理事組合長 川崎 裕司

〒811-5132 長崎県壱岐市郷ノ浦町東触560  
電話 0920-47-1331  
FAX 0920-47-1283  
H P <http://jaiki.sakura.ne.jp>

「火野正平のっぽん縦断こころ旅」から  
「松坂直美の映画」まで  
あなたに寄り添う映像をお届けします。

株式会社キャバレット

代表取締役 村上安弘

182-0023 東京都調布市染地2-33-10-406  
電話042-446-0975 FAX042-446-0976



日本酒  
純米大吟醸

## 歴史を重ねて九十年 重家酒造株式会社

〒811-5214 長崎県壱岐市石田町印通寺浦200  
雪洲本社 TEL 0920-44-5002  
FAX 0920-44-8401  
URL <http://www.omoyashuzo.com>

〒811-5133 長崎県壱岐市石田町池田西触545-1  
海彦 横山蔵 TEL 0920-40-0061  
山彦 FAX 0920-40-0245

お酒は20歳になってから



壱岐焼酎  
本格むぎ製

## 株式会社 長峰マネジメントオフィス

東京都知事(3)92648

代表取締役 長峰 隆徳

- 不動産の売買・賃貸の仲介
- 有効活用コンサルティング
- アパート建築のコンサルティング
- 住宅・アパートの建売事業
- リフォーム企画、設計、施工

〒158-0086 世田谷区尾山台3-33-10-201  
TEL : 03-6805-9381 FAX : 03-6805-9382  
携帯 : 090-3200-3533 E-mail : [marucho@poem.ocn.ne.jp](mailto:marucho@poem.ocn.ne.jp)

公正で正確な報道  
 壱岐の島の情報

# 壱岐新報

ご購読の申し込み先

〒811-5131 壱岐市郷ノ浦町永田蝕91-3  
 (株)壱岐新報社  
 TEL 0920-47-3196  
 FAX 0920-47-3197  
 ホームページ <http://ikishinpou.com>  
 E-mail [ikishinpou@hm.iki-vision.jp](mailto:ikishinpou@hm.iki-vision.jp)

## 消防設備

(点検・修理・工事・機器販売)

〇 火災報知設備    〇 消火器  
 〇 避難器具    〇 誘導灯  
 〇 消火設備    〇 住宅用火災報知器

## (株)昇盈エンジニアリング

代表取締役 畑津 邦裕

〒135-0015 東京都江東区千石1-13-10  
 電話03-3647-5911

## 本格仏蘭西料理「日比谷松本楼」

創業1903年、日比谷公園のほぼ中央に位置する日比谷松本楼。  
 緑の森に囲まれた「レストラン ポア・ド・ブローニュ」では、本格仏蘭西料理をご提供いたします。



お食事のほかに、ご宴会、ご集會、  
 ご結納・ご婚禮・ご披露宴、會議、  
 出張お料理などにご利用下さい。

<本店>  
 3F: レストラン ポア・ド・ブローニュ  
 2F: 大小ご宴会場・披露宴会場  
 1F: グリル、ガーデンテラス

日比谷  
**松本楼**  
 SINCE 1903

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-2  
 Tel: 03-3503-1451 Fax: 03-3503-1460  
<http://www.matsumotoro.co.jp>

- ・東京ビッグサイト店
- ・東大工学部2号館店
- ・学習院大学店・自白倶楽部
- ・東京女子医大店・グリーンテラス
- ・杏林大学病院店・ガーデンテラス
- ・相鉄ジョイナス店
- ・大宮ルミネ店
- ・立教大学セントポルズ会館店

「長崎県壱岐」  
 玄界灘海塩

壱岐の海水をくみ上げ、  
 平釜で、ただひたすらに  
 じっくりと煮詰め続けました。  
 壱岐の海から生まれた  
 まるやかなこくのある  
 とっても美味しいお塩です。



壱岐の塩

平釜 株式会社

◎お問い合わせ先  
 製造・販売  
 株式会社 **ながはら** 食品事業部

0120-611-401  
<https://www.kodawari-iimono.com>

壱岐の  
 おいしい  
 養殖ふぐ。



食品事業部  
 〒811-5461 長崎県壱岐市戸辺町瀬戸浦 1245  
 TEL.0920-45-4888 / FAX.0920-45-4560

鎌崎陸上養殖場  
 〒811-5136 長崎県壱岐市郷ノ浦町片原蝕 2581-11  
 TEL.080-2733-5182 / FAX.0920-40-0152

東京壱岐雪州会の益々の御発展を  
 祈念いたします。

本 格 焼 酎

猿川 潮騒の詩

株式会社 猿川伊豆酒造

〒811-5326 長崎県壱岐市戸辺町深江本村蝕1402-1  
 TEL.0920-45-0200 FAX.0920-45-1725  
<http://www.saruko.com/> webmaster@saruko.com

壱岐市立 一支国博物館  
 IKI CITY IKIKOKU MUSEUM



〒811-5322 戸辺町深江鶴亀蝕 515 番地1  
 TEL: 0920-45-2731

一支国博物館

代表取締役  
白石 光男

壱岐島で発案した  
ITネットワークのリコジェ



アプリの企画・販売

株式会社 **リコジェ**

法人番号 9310001013507  
 ✉ smjapan@jcom.home.ne.jp  
<https://recorge-system.jp>

壱岐島を元気にするメディア!



**壱岐新聞社**  
代表 山内 武志

◎壱岐新聞のご購読・お問い合わせは…  
**☎0920-48-1860**  
 〒811-5132  
 長崎県壱岐市郷ノ浦町東触 942-1  
 FAX 0920-48-1265  
<http://ikishinbun.jp/>  
 E-mail : info@ikishinbun.jp



お酒は20歳になってから



**世界の銘酒「壱岐焼酎」**

麦焼酎発祥の地が産んだ世界ブランド



**壱岐酒造協同組合**

理事長 山内 昭人  
副理事長 長田 浩義



長崎県 壱岐市

<http://ondakobus.com> 壱岐な旅のお手伝い。

玄海交通バス  
0920-44-5826

タクシー配車センター  
0920-43-0880

壱岐ガイドクラブ  
0920-44-5838



**壱岐うに** 長 おさだのうに製造販売  
**100%** 海産物・林産物・観光みやげ

**(有)長田商店**  
 おさだ りょう  
 代表取締役 **長田 亮**

長崎県壱岐市郷ノ浦町郷ノ浦 122-44  
 TEL(0920)47-0341 (代)  
 FAX(0920)47-4341  
 HP <http://osada-iki.com>  
 ご来島お待ちしております

株式会社 **アサヒ企画**   
 代表取締役 **立石義昭**

〒352-0001 埼玉県新座市東北2-40-6 ラウガイダ 志木  
 TEL 048-423-3722 FAX 048-423-3723  
 URL <http://www.asahi-kikaku.jp/> E-Mail: [tateishi@asahi-kikaku.jp](mailto:tateishi@asahi-kikaku.jp)

☆ 半導体 (LSI) の設計・開発、製造及び販売  
 ☆ 自動車向け組込みソフトウェアの設計開発  
 ☆ システム開発事業及び開発支援事業

当社は、お客様と一体となり  
 設計開発支援の提供を行っています。



壱岐の花 水仙

 **東部重工業株式会社**  
 1963年創業

取締役 会長 **吉田 牧男**

グラブバケット・コイルリフター・ホッパー等  
 荷役運搬機械製造

〒279-0002 千葉県浦安市北栄4丁目12番20号  
 ☎ 047-352-5311

株式会社 **壱岐の華**  
 代表取締役 **長田浩義**



株式会社 壱岐の華  
 長崎県壱岐市芦辺町諸吉二亦触1664-1 Tel (0920) 45-0041

**本格むぎ焼酎**



**透き通る壱岐の海へGO!**  
 オーシャンビュー客室は早めのご予約を

壱岐の大自然を体験メニューで満喫できる宿  
 無人島までシーカヤック&シュノーケリングや釣り筏での魚釣りは  
 毎年リピーターも多い。  
 コテージやキャンプ場もあるので、グループやファミリーに  
 大人気の施設です。

①宿泊料 (1人1泊2食)	大人 7,600円	小人 4,900円
②コテージ1棟 (定員6名)	1泊 15,700円	
③シーカヤック	大人 3,100円	小人 2,400円

**壱岐出会いの村** 長崎県壱岐市郷ノ浦町新田触492番地  
 TEL 0920(46)0789 FAX 0920(46)0141

気持ちが落ち着く温もりの故郷  
自分の思い出が詰まった郷里  
誰もが原点に戻れる島「壱岐」へ



博多から壱岐までジェットfoilで70分

## 九州郵船株式会社

(東京事務所) 〒102-0071  
千代田区富士見2-7-2  
ステージビルディング17階  
☎ 03-3222-5051

(本社) 〒812-0022  
福岡市博多区神屋町1-27  
☎ 092-281-0831

発着時刻等の確認はWEBで **九州郵船**



## 株式会社 福岡都市未来研究所

- ・ Kokura
- ・ Kurume
- ・ Oomura
- ・ Oomuta
- ・ Sasebo
- ・ Oomura
- ・ Kumamoto
- ・ Kagoshima
- ・ Nagasaki

## 株式会社 福岡都市未来研究所

一級建築士事務所・宅地建物取引業

- ・ ホテル誘致・コンサルタント企画 設計 施工
- ・ 設計 マンション企画設計・施工
- ・ 不動産売買仲介・コンサルタント
- ・ 市民家・空き家ヘリテージマネージャー

**福岡都市未来研究所** で検索

福岡壱岐の会元副会長  
1級建築士  
代表取締役

## 村井省三

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通5-23-2  
東急ドエルアルス天神403号  
TEL:092-738-5011 FAX:092-738-5010  
携帯:090-1518-2439  
E-mail: ichigoichie-2@aroma.ocm.ne.jp



## 麦焼酎発祥の地 一壱岐の島一



壱岐っ娘  
モンド・セレクション金賞



IKIKKO DELUXE 25度  
モンド・セレクション最高金賞  
福岡国税局酒類鑑評会金賞



壱岐の島 25度  
モンド・セレクション金賞  
福岡国税局酒類鑑評会金賞

**壱岐の蔵酒造株式会社** 長崎県壱岐市芦辺町湯岳本村舩 520 TEL(0920) 45-2111

**壱岐の蔵酒造**



お酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。

# 株式会社エーティ・プランニング

代表取締役社長 富山 福光

進化する明日に、深化した技術を。

関わるすべてのひとの”進化する明日“を実現する。  
それが、私たちATPの使命です。

“深化した技術”で一人でも多くの方々の笑顔を増やせるよう、  
お客様の「期待の一步その先」を叶えます。



<http://www.atp.co.jp>

[ 本 社 ] 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル3F TEL : 03-5338-5560 FAX : 03-5338-5562  
 [ 札幌支店 ] 北海道札幌市中央区北1条西3-3 札幌MNビル12F TEL : 011-219-2900 FAX : 011-219-2902  
 [ 福岡支店 ] 福岡県福岡市博多区博多駅前1-4-4 JPR博多ビル6F TEL : 092-413-2110 FAX : 092-413-2114

## iki olive

吉岐の島より、安心安全な  
オリーブ商品をお届けします。

毎日1杯の健康習慣

ワントーン明るい  
透明素肌へ

朝の素肌が楽しみ  
になる！



25g入 (1ヶ月分)  
¥2,800円



生せっけん 100g  
¥3,200円



ナイトケア  
オリーブオイル  
¥3,000円

ikicael 化粧品シリーズ



吉岐オリーブ園株式会社

〒811-5136 長崎県吉岐市郷ノ浦町片原触1190  
TEL 0920-47-6737 <https://ikiolive.jp>

検索

吉岐オリーブ園



## 吉岐交通株式会社

代表取締役 酒井 誠二



路線バスラッピング広告、貸切バスのご用命は  
TEL(0920)47-1161 FAX(0920)47-5590  
〒811-5132長崎県吉岐市郷ノ浦町東触575-2  
<https://iki-kotsu.com>

奥吉岐の千年湯

## 平山旅館

女将 平山真希子

電話 0920-43-0016

<http://www.iki.co.jp>

真心を [ 味 ] に託して

500年の味を伝える  
長崎名物

●大田区西六郷 4-9-12 Tel:03-3733-4898

大村 寿

長崎 旬の魚・地酒

●蒲田店 大田区西蒲田 7-67-4

Tel:03-3736-2501

泉 堂

株式会社 泉 堂

本部 東京都大田区西六郷 4-9-12 Tel:03-3733-4881



奈良新工場



栃木工場



東京本社が入っているビル

非鉄金属用フラックスのトップメーカー



株式会社 **ファウンテック**

代表取締役 **万谷 正**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル

TEL 03-5218-8291 FAX 03-3214-8091

URL <http://www.fountec.co.jp> E-Mail [fountec@foutec.co.jp](mailto:fountec@foutec.co.jp)

営業所：東京 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル

名古屋 名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル7F

関西 滋賀県近江八幡市鷹飼町南4-1-4カルチャーコート1B

九州 福岡市博多区博多駅東3-1-29 博多第2ムカキビル2F

技術部：名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル7F

栃木研究室：栃木県鹿沼市茂呂778-1

工場：奈良 奈良県御所市池之内831番地

栃木 栃木県鹿沼市茂呂778-1

海外連絡事務所：中国（上海、青島）、タイ（バンコク）

ベトナム（ハノイ・ホーチミン）

# 麦焼酎発祥の地

モンドセレクション 21年連続受賞蔵



松永安左エ門翁  
720ml (43度)



壱岐スーパーゴールド  
720ml (22度)



壱岐グリーン  
720ml (20度)



むぎ焼酎壱岐  
1.8L (25度)

## むぎ焼酎 壱岐 玄海酒造株式会社

取締役会長 山内 賢明 取締役社長 山内 昭人 取締役副社長 山内 博達

〒811-5125 長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触550-1

TEL.0920-47-0160 FAX.0920-47-0211

[www.mugishochu-iki.com](http://www.mugishochu-iki.com)

◎お酒は20歳になってから。 ◎お酒は適量を。 ◎妊娠中・授乳期の飲酒には気をつけましょう。

## かめはだか 一洲

有限会社 山の守酒造場  
むぎ焼酎壱岐 玄海酒造グループ

〒811-5125 長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触85  
TEL0920-47-0301 FAX0920-47-0384

銘柄の由来  
電力の鬼と云われた  
松永安左エ門翁の雅号  
一洲から命名しました。



一洲 25度 1800ml

◎お酒は20歳になってから。